

# 健 康 課

## ○ 健康文化都市推進事業

生涯を健康で暮らせるような「健康文化都市」をめざし、健康づくり指針(伊勢市健康増進計画)に基づき、健康文化週間・健康の日を中心に様々な啓発事業を実施した。肥満予防を目的に「低カロリー・バランス食」の啓発や「ウォーキング」の推進を図るため、レシピ集の発行やウォーキング講座等を実施したり、皇學館大学へのウォーキングルートの検証委託を継続した。

また、平成 28 年度からの新たな第 2 期健康づくり指針を策定した。(事業費 4,206,682 円)

区 分	実施場所	回 数	延 べ 人 数
健康文化週間啓発事業	中央保健センター いせトピア 他	12 回	1,118 人
健康の日啓発事業	中央保健センター 小俣保健センター 他	10	1,439
ウォーキング大会	市内各地域	11	504
健康づくりアドバイザー 養成講座	中央保健センター	6	93
健康づくり教室	中央保健センター 他	29	1,587
こころの健康づくり (メンタルパートナー養成講座)	中央保健センター 市内各地域	3	74
計		71	4,815

生活習慣病予防のための運動や健康づくりを目的に自主的に活動し実践しているグループに対して、健康づくり広場の提供や市民の活動の支援に努めた。

区 分	対象者	回 数	参加者数
運動教室OB会	運動教室修了者	205 回	7,479 人
健康づくりアドバイザー (ヘルスアドバイザー)	健康づくりアドバイザー 養成講座修了者	11	143
計		216	7,622

## ○ 救急医療関係

一次救急医療事業委託

休日・夜間応急診療所への医師派遣調整及び救急医療知識の普及啓発並びに情報提供業務を伊勢地区医師会に委託し、休日及び毎夜間における一次救急医療体制の確保を図った。なお、市民に救急業務に関する正しい理解と知識を深めてもらうよう「救急・災害を考える集い」を 8 月 30 日に開催した。

また、市民が参加するイベントなどにおいて、突然の心停止時に早期に対応できるよう、救命措置に必要な A E D (自動体外式除細動器) の貸出を行った。(事業費 4,111,752 円)

	実施日	実施場所	内 容	参加人数
救急・災害を 考える集い	27. 8. 30	いせトピア	・特別講演 「であい ふれあい ひびきあい～「のど自慢」12年の旅から～」(元NHKアナウンサー宮川泰夫氏) ・パネル展示、健康相談、地震体験車展示等	250人

	件数(台数)	延べ日数	貸 出 行 事
AED貸出	36件 (42台)	94日	伊勢まつり、体育祭、花火大会、マラソン他

## ○ 健康・医療電話相談事業

市民の安心と救急医療体制保持を図るため、健康、医療をはじめ、介護、育児やメンタルヘルスなどの、市民の心と体の様々な相談に、医師や看護師などの専門家による24時間年中無休、通話料無料の電話相談サービスを委託し、実施した。(事業費 7,603,740円)

伊勢市健康医療ダイヤル24	日 数	相談件数
	365日	17,113件

## ○ 食生活改善推進事業

健康づくりの基本となる日常の食生活を適正なものにするため、食生活改善推進員の養成及び推進員を中心とした地域住民の自主的な活動に対する支援を行った。(事業費 977,898円)

区 分	対 象 者	回 数	参 加 者 数
食から出発健康セミナー	市 民	6回	76人
ヘルスメイト料理講習会・伝達講習会	〃	119	2,380
保健事業への協力	〃	43	136
計		168	2,592

## ○ 定期予防接種事業関係

予防接種法に基づき、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するため、市内及び県内の医療機関において各種予防接種を実施した。

なお、水痘ワクチン及び高齢者肺炎球菌ワクチンについては、法改正により、平成26年10月1日から定期予防接種事業として実施している。

また、高齢者インフルエンザについては、10月15日から接種を開始し、対象者のうち生活保護受給者に対して費用の全額を、生活保護受給者以外の方に対して一部助成を行った。(事業費 324,466,442円)

予防接種区分	対象年齢・世帯	時 期	延人数	金 額
DT二種混合	(2期)11歳～13歳未満	通 年	923人	4,834,674円
DPT三種混合	生後3か月～90か月未満	〃	2	15,250
DPT-IPV 四種混合	生後3か月～90か月未満	〃	3,904	50,437,840

日本脳炎	(1期) 6か月～90か月未満	通 年	人 2,995	円 23,909,586
	(2期) 9歳～13歳未満	〃	606	4,376,636
	(1期) 救済措置分	〃	166	1,201,176
	(2期) 救済措置分	〃	460	3,328,560
ポリオ	生後3か月～90か月未満	〃	81	957,906
麻しん風しん (MR. M. R)	(1期) 1歳～2歳未満	〃	947	11,617,484
	(2期) 5歳～7歳未満で小学校就学前1年間	〃	1,011	11,205,974
BCG	生後直後～12か月未満	〃	970	8,884,520
子宮頸がん予防 ワクチン	小学6年生～高校1年生	〃	2	33,372
ヒブワクチン	2か月～5歳未満	〃	3,860	39,814,654
小児用肺炎球菌 ワクチン	2か月～5歳未満	〃	3,826	52,370,716
水痘	1歳～3歳未満	10月1日～ 3月31日	2,172	23,186,210
高齢者用肺炎 球菌ワクチン	65・70・75・80・85・90・95・100歳以上及び 一定の疾患を持つ60～64歳（生活保護受給者 以外）	〃	2,860	15,729,900
	65・70・75・80・85・90・95・100歳以上及び 一定の疾患を持つ60～64歳（生活保護受給者）	〃	36	306,000
季節性 インフルエンザ	65歳以上及び一定の疾患を持つ60～64歳 （生活保護受給者以外）	10月15日～ 1月31日	20,103	60,308,400
	65歳以上及び一定の疾患を持つ60～64歳 （生活保護受給者）	〃	275	1,155,000
計			45,199	313,673,858

## ○ 骨髄等移植ドナー支援事業

日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄等の提供をされた方に対し、助成金を交付した。（事業費 200,000円）

助成人数	2人
------	----

## ○ 健康増進事業関係

健康増進法に基づき、壮年期死亡の減少と介護予防の推進のため、生活習慣病予防を中心に次の諸事業を実施した。

### 1 健康相談事業（事業費 700,595円）

区 分	実 施 場 所	回 数	延べ人数	備 考
総合成人健康相談	中央保健センター	15回	53人	
	小俣保健センター、 ハートプラザみその、 二見老人福祉センター	34	260	
重点健康相談、 栄養相談	中央保健センター、 二見老人福祉センター等	55	84	
計		104	397	

2 健康診査事業（事業費 269,334,971円）

がん検診では、多くの市民に受けやすい検診の機会を確保した。また、特定の年齢の方に無料クーポン券を配布する国事業のがん検診事業も合わせて実施した。

区 分	実 施 機 関 等		計	金 額
	集 団	医 療 機 関		
健康増進法健康診査	—	206人	206人	2,130,900円
骨粗しょう症 検 診	腰椎 D E X A	125	125	2,580,650
	腰 椎 以 外	1,800	1,800	
肝 炎 ウ イ ル ス 検 診	—	1,408	1,408	5,314,570
胃 がん 検 診	透 視	676	676	133,283,530
	内 視 鏡	9,861	9,861	
大 腸 が ん 検 診	—	15,213	15,213	17,820,030
大腸がん検診(クーポン券対象者)	—	1,736	1,736	
肺 がん 検 診	X 線	246人	14,434	26,368,470
	X 線 + 喀 痰	2	884	
子 宮 頸 がん 検 診 ( 頸 部 )	410	5,669	6,079	34,957,228
子 宮 頸 がん 検 診 ( 頸 部 ) ( ク ー ポ ン 券 対 象 者 )	3	308	311	
乳 が ん 検 診	1,248	4,144	5,392	28,600,780
乳がん検診(クーポン券対象者)	33	551	584	
前立腺がんマーカー検査	—	2,597	2,597	5,814,940
合 計	1,942	59,612	61,554	256,871,098

3 歯周疾患検診事業

歯の喪失を予防するため、満40～50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の市民を対象に、歯周疾患検診を実施した。（事業費 6,515,070円）

区 分	実施時期	実 施 機 関	延べ人数
歯周疾患検診	6～12月	市内及び度会郡内の 実施歯科医院	2,280人
高齢者口腔総合健康診査	通年	〃	148
計			2,428

4 訪問指導事業（事業費 375,294円）

区 分	訪 問 指 導 人 数	
	実 人 数	延 べ 人 数
がん要精検未受診者	201人	201人
精神疾患	7	12
健康増進法健診後の保健指導者	0	0
その他	7	12
計	215	225

## ○ 特定保健指導関係

「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき実施した。

40歳から74歳の伊勢市国民健康保険加入者を対象に行う、メタボリックシンドロームに着目した健康診査の結果、特定保健指導の対象者となった者に対し、「動機付け支援」と「積極的支援」の保健指導を行った。

区 分		実施場所	回数	延べ人数	備 考
動機付け 支 援	来 所	中央保健センター 二見老人福祉センター 小俣保健センター ハートプラザみその	44回	130人	保健師、看護師による生活改善指導 初回支援の6か月後に評価を実施
	家庭訪問	各 家 庭	297	374	
積極的支援	来 所 等 電 話	中央保健センター等	61	61	医師講演・保健師、栄養士による生活改善指導 3か月以上継続的に支援し、初回支援の6か月後に評価を実施
	家庭訪問	各 家 庭	4	4	
計			406	569	平成27年度 保健指導実施率35.7%

## ○ 介護予防関係

介護保険法に基づき、高齢者の健康づくりと介護予防の推進のため、次の諸事業を実施した。

### 1 一次予防事業

65歳以上の全ての高齢者を対象に、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるよう、介護予防に関する知識の普及・啓発と地域における自発的な介護予防に資する活動の育成や支援を行った。

(1) 介護予防普及啓発事業（事業費 3,322,177円）

区 分	実施場所	回数	延 べ 人 数	備 考
すこやか教室	市内各地域	53回	1,136人	老人クラブ対象
		1	16	要請
介護予防講演会	中央保健センター	3	148	
介護予防普及啓発事業 (健康の日)	〃	1	42	
介護予防普及啓発事業 (福祉健康フェスティバル)	〃	2	826	
在介による 転倒骨折予防教室	市内各地域	50	721	市内9在宅介護支援センターに委託
地域や団体からの要 請による介護予防等	中央保健センター 市内各地域	6	191	
脳いきいき音楽講座	中央保健センター	2	116	
計		118	3,196	

## (2) 介護予防強化事業（事業費 1,789,425 円）

区 分	実施場所	回数	延べ人数	備 考
介護予防 BOOK の送付	—	1	1,026	年度中に 70 歳になる方が対象
アクティブ 70 会	中央保健センター	4	51	年度中に 70 歳になる方が対象
特別講演会	ハートプラザみその	1	162	
健康テラス (健康チェックコーナー)	中央保健センター	15	3,260	介護予防学習ポスター 9 団体に配布
		21	4,499	

## (3) 介護予防運動器向上事業（事業費 500,496 円）

区 分	実施場所	回数	延べ人数	備 考
シニア世代のための筋活講座	中央保健センター	24	611	

## (4) 認知症予防事業（事業費 668,144 円）

区 分	実施場所	回数	延べ人数	備 考
脳活性化教室講義型	中央保健センター	4	96	
脳活性化教室体験型	〃	24	437	
		28	533	

## (5) 地域介護予防活動支援事業（事業費 100,694 円）

区 分	対象者	回 数	延 べ 人 数	サークル数
いきいきクラブ	教室終了者等	16	349	1
脳活性化OB会	教室修了者	253	2,587	13
運動器機能向上OB会	〃	266	3,366	11
お達者クラブOB会	〃	21	188	2
アクティブ70会OB会	〃	19	218	2
計		575	6,708	29

## 2 二次予防事業

生活機能が低下し要介護状態等となるおそれのある 65 歳以上の者（二次予防事業対象者）を早期に発見し、要介護状態等を予防し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援を行った。

## (1) 複合型介護予防事業（事業費 110,863 円）

区 分	場 所	回 数	延べ人数
口腔訓練教室	中央保健センター	9	11
複合型介護予防教室	中央保健センター・小俣保健センター	8	22
訪問型介護予防	各家庭	3	3
計		20	36

## ○ 母子保健関係

母子保健法に基づき、乳幼児の健全育成と虐待予防及び子育て支援を図るため、次の諸事業を実施した。

### 1 健康教育事業

#### (1) 子育て支援教室事業（事業費 510,310 円）

妊娠期、乳幼児期に各教室を実施し、正しい知識の普及と子育ての不安の解消、仲間づくりの支援を図った。

区 分	対 象 者	実 施 場 所	回 数	延べ人数	内 容
パパとママの教室	初妊婦及びその夫	中央保健センター	1日間 コース 5回	185人	講話、沐浴実習、妊婦模擬体験、絵本の読み聞かせ体験等
離乳食教室	乳児を持つ保護者	中央保健センター 二見老人福祉センター 小俣保健センター ハートプラザみその	15	380	離乳食の講話と試食
要請による育児教室等	保護者等	子育て支援センター他	21	443	育児講座
計			41	1,008	

#### (2) 発達支援教室事業（事業費 2,807,215 円）

1歳6か月児健康診査等で、言語発達等に観察が必要な親子に対し、育児支援、助言を行うとともに、保護者のネットワークづくりに努めた。

区 分	対 象 者	実 施 場 所	回 数	延べ人数	備 考
親子教室らっこ	乳児と保護者	中央保健センター	4回	74人	
発達支援教室	幼児と保護者	小俣保健センター	18	330	
親子教室アイアイ	〃	中央保健センター	12	429	広汎性発達障害児早期発見、早期療育事業
計			34	833	

#### (3) 幼児歯科保健事業（事業費 3,106,803 円）

幼児のむし歯予防を目的に、むし歯が増加しやすい幼児期の保護者と幼児を対象に教室を実施した。

区 分	対 象 者	実 施 場 所	回 数	延べ人数
むし歯バイバイ教室	2歳代の幼児と保護者	中央保健センター	24回	816人

3歳児フッ化物塗布教室	3歳代の幼児と保護者	中央保健センター	12回	665人
歯科保健教室	幼稚園・保育園と保護者	幼稚園	6	365
計			42	1,846

## 2 子育て相談事業（事業費 895,501円）

保護者が自信を持って育児が出来るよう、市内の各場所で相談事業を実施した。

区分	対象者	実施場所	回数	延べ人数
妊婦相談	妊婦	中央保健センター	随時	540人
子育て相談	妊産婦と乳幼児	中央保健センター 二見老人福祉センター 小保保健センター ハートプラザみその	45回	2,326
		市内各地域子育て支援センター	38	117
栄養相談	〃	〃	45	438
電話育児相談	乳幼児を持つ家族	〃	随時	—
計				3,421

## 3 健康診査事業（事業費 117,179,744円）

妊婦・乳幼児の異常の早期発見と健康の保持増進を図った。

区分	対象者	実施場所	回数等	延べ人数	金額	備考
妊婦一般健康診査	妊婦	県内各医療機関等	随時	12,046人	109,079,721円	妊娠中に14回
乳児一般健康診査	4か月・10か月の乳児	県内各医療機関	〃	1,824		乳児期に2回
1歳6か月児健康診査	1歳6か月児～1歳8か月児 2歳児未満	中央保健センター	20回	886	2,706,057	
3歳児健康診査	3歳6か月児～4歳児未満	〃	21	962	4,416,902	
妊婦歯科健康診査	妊婦	市内及び度会郡内の実施歯科医院	随時	362	977,064	妊娠中に1回
計				16,080	117,179,744	

## 4 新生児等訪問指導事業

増加する児童虐待を予防するため、不安の多い新生児期に訪問指導を実施し、育児不安の解消を図るとともに、ハイリスク家庭への支援の充実を図った。（事業費 4,766,739円）



区 分	対 象 者	人 数	備 考
妊産婦訪問指導	健診の要指導者及び支援が必要な妊産婦	981人	
赤ちゃん訪問 (新生児訪問指導)	生後2か月頃の乳児	947	乳児家庭全戸訪問事業として実施 ※未熟児訪問89人含む
乳幼児訪問指導	健康診査未受診者及び要経過観察児	539	
育児支援訪問指導	育児支援等で継続訪問の必要な家庭	161	
計		2,628	

#### 5 妊娠・出産包括支援事業（事業費 11,644,276円）

安心して妊娠・出産・子育てができるよう、中央保健センターを拠点に、母子保健コーディネーター（保健師）や助産師が中心となって、妊娠期からの切れ目ない支援の充実を図った。

##### (1) 母子保健相談支援事業

母子保健コーディネーターが、妊娠期からの相談や訪問、「ママ安心サポートプラン」の作成など、母子健康手帳交付時からの継続した支援を実施した。

##### (2) 産前・産後サポート事業

助産師が中心となり、お母さんの悩みや不安に寄り添う支援を実施した。

区 分	対 象 者	実 施 場 所	回 数	延べ人数
おっぱい相談会	妊 産 婦	中央保健センター	25回	106人
おめでとう コー ール	産後2～3週間目 の 産 婦	〃	随時	685
計				791

#### 6 母子健康手帳交付事業（事業費 607,886円）

妊娠届の提出件数	交 付 場 所
980件	中央保健センター、各総合支所

※双子12件あり

#### 7 不妊不育治療費助成事業

不妊不育治療を行っている夫婦に対し、治療にかかる費用の一部を助成することにより経済的な負担の軽減を図り、少子化対策に寄与した。（事業費 13,302,860円）

区分	助成件数
一般不妊治療	88件
特定不妊治療	95
不育治療	6
計	189

8 新生児聴覚検査助成事業

新生児聴覚検査にかかる費用の一部助成をすることにより、経済的負担の軽減と先天性聴覚障がい  
の早期発見と支援にむけた体制整備を行い、乳幼児の健康の保持増進を図った。

(事業費 2,080,555 円)

助成人数	694 人
------	-------

9 未熟児養育医療事業

入院養育が必要な未熟児に対して、医療の給付に要する経費を補助することにより、経済的負  
担の軽減と未熟児の健康の保持増進を図った。(事業費 5,243,020 円)

給付人数	21 人
------	------

○ 休日・夜間応急診療所運営関係

平日夜間や休日における急病の発生に対処するため、休日・夜間応急診療所を開所し、応急診  
療を行った。

1 医科診療所運営事業 (事業費 82,881,162 円)

診療科目		区分	開所日数	受診者数			
				市内	市外(県内)	県外	計
昼	内科	70 日	70 日	1,893 人	481 人	100 人	2,474 人
	小児科			1,300	402	121	1,823
	計			3,193	883	221	4,297
夜	内科	366	366	2,337	634	96	3,067
	小児科			1,460	546	128	2,134
	計			3,797	1,180	224	5,201
合計			436	6,990	2,063	445	9,498

2 歯科診療所運営事業 (事業費 6,815,569 円)

開所日数	受診者数			
	市内	市外(県内)	県外	計
70 日	264 人	111 人	16 人	391 人

○ 地域医療体制推進事業関係

1 連携リハビリテーション医学講座設置事業

平成 25 年 10 月 1 日に藤田保健衛生大学と協定を締結し、南勢志摩保健医療圏のリハビリテ  
ーション環境の充実を図るため設置した寄附講座「連携リハビリテーション医学講座」により、平  
成 27 年度は市立伊勢総合病院へ常勤 1 名のリハビリテーション科医師の派遣を受けた。

また、伊勢志摩地域の医療スタッフに向け、「第 1 回リハビリテーション研究会」と題したシ  
ンポジウムを開催した。(事業費 24,000,000 円)

区分	実施日	実施場所	内 容	参加人数
医療従事者向けシンポジウム	28. 2. 12	ハートプラザ みその	テーマ「伊勢志摩地区の地域連携を考える 運動器疾患を中心に リハビリテーションの視点から」 座長 藤田保健衛生大学医学部連携リハビリテーション医学講座 准教授 岡崎 英人 氏 講演者 (1) 急性期の立場から 市立伊勢総合病院 原 隆久 氏 (2) 回復期の立場から 市立伊勢総合病院 前田 寛文 氏 (3) 地域の立場から 森田整形外科 森田 勝也 氏	約 120人

## 2 公的病院支援事業補助金

地域医療体制を確保する観点から、不採算医療（小児医療）分野のうち、市内で唯一小児科専用病床を有している公的病院の伊勢赤十字病院に対し運営経費の一部助成を行い、安定した経営及び医療水準の確保とともに市民への安心・安全な医療の提供につなげた。（事業費 10,000,000円）

# 医 療 保 険 課

## ○ 国民健康保険関係

### 1 国民健康保険運営協議会

国民健康保険法第 11 条の規定に基づき設置した国民健康保険運営協議会を、次のとおり開催した。

(1) 開催回数 2 回（8 月 6 日、2 月 18 日）

(2) 内容

8 月 6 日協議事項

- ・ 会長及び副会長の選任について
- ・ 平成 26 年度国民健康保険特別会計決算見込について

2 月 18 日協議事項

- ・ 副会長選任について
- ・ 平成 27 年度国民健康保険特別会計最終補正予算（案）について
- ・ 平成 28 年度国民健康保険特別会計当初予算（案）について
- ・ 三重県市町国保広域化について

### 2 国民健康保険加入世帯及び被保険者数（月平均）

世帯数	被保険者数	一般被保険者		退職被保険者等	
		人数	構成比	人数	構成比
世帯 19,455	人 32,006	人 30,880	% 96.5	人 1,126	% 3.5

### 3 給付状況

種 別	件 数	金 額	摘 要
一般被保険者療養給付費	件 519,825	千円 7,805,475	(1) 診療延べ日数 702,792 日 (2) 費用額 10,625,040,718 円 (3) 一人当たり費用額 344,075 円 (4) 一人当たり保険者負担額 252,768 円 (5) 一人当たり受診回数 16.8 回
退職被保険者等療養給付費	22,673	305,674	(1) 診療延べ日数 27,193 日 (2) 費用額 436,881,322 円 (3) 一人当たり費用額 387,994 円 (4) 一人当たり保険者負担額 271,469 円 (5) 一人当たり受診回数 20.1 回

一般被保険者療養費	件 8,718	千円 61,317	—
退職被保険者等療養費	477	2,757	—
一般被保険者高額療養費	35,266	992,734	—
退職被保険者等高額療養費	756	46,299	—
出産育児一時金	80	33,552	—
葬祭費	206	10,300	—

#### 4 国民健康保険料（税）収納状況

区 分			調 定 額	収 入 済 額	収入済額に含む 還付未済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	
			円	円	円	円	円	%	
保 險 料	一 般 被 保 險 者	現年	医療	1,454,081,697	1,371,040,400	449,038	31,400	83,009,897	94.3
			後期	750,730,199	707,124,538	127,679	12,500	43,593,161	94.2
			介護	286,453,743	260,863,511	41,130	—	25,590,232	91.1
		滞 納 繰 越	医療	400,598,482	105,422,084	62,222	39,979,214	255,197,184	26.3
			後期	145,041,711	34,940,328	21,524	13,528,620	96,572,763	24.1
			介護	86,811,966	19,158,082	8,854	7,146,238	60,507,646	22.1
	小 計			3,123,717,798	2,498,548,943	710,447	60,697,972	564,470,883	80.0
	退 職 被 保 險 者 等	現年	医療	57,310,280	56,140,163	6,135	—	1,170,117	97.9
			後期	30,180,352	29,563,772	3,329	—	616,580	97.9
			介護	30,383,929	29,794,362	3,289	—	589,567	98.0
		滞 納 繰 越	医療	20,778,530	11,532,451	—	441,259	8,804,820	55.5
			後期	8,168,742	4,816,957	—	129,213	3,222,572	59.0
介護			9,077,392	5,658,287	—	147,516	3,271,589	62.3	
小 計			155,899,225	137,505,992	12,753	717,988	17,675,245	88.2	
合 計			3,279,617,023	2,636,054,935	723,200	61,415,960	582,146,128	80.4	
保 險 税	一 般	滞 納 繰 越	医療	4,087,491	212,476	—	574,925	3,300,090	5.2
			介護	514,722	76,437	—	3,575	434,710	14.9
		小 計			4,602,213	288,913	—	578,500	3,734,800
	退 職	滞 納 繰 越	医療	423,754	131,409	—	2,600	289,745	31.0
			介護	39,128	24,873	—	—	14,255	63.6
		小 計			462,882	156,282	—	2,600	304,000
合 計			5,065,095	445,195	—	581,100	4,038,800	8.8	

区 分		調 定 額	収 入 済 額	収入済額に含む 還 付 未 済 額	不納欠損額	収入未済額	収納率		
保 険 料 ・ 保 険 税	一 般 被 保 険 者	現 年	医 療	円 1,454,081,697	円 1,371,040,400	円 449,038	円 31,400	円 83,009,897	% 94.3
			後 期	750,730,199	707,124,538	127,679	12,500	43,593,161	94.2
			介 護	286,453,743	260,863,511	41,130	-	25,590,232	91.1
		滞 納 繰 越	医 療	404,685,973	105,634,560	62,222	40,554,139	258,497,274	26.1
			後 期	145,041,711	34,940,328	21,524	13,528,620	96,572,763	24.1
			介 護	87,326,688	19,234,519	8,854	7,149,813	60,942,356	22.0
	小 計	3,128,320,011	2,498,837,856	710,447	61,276,472	568,205,683	79.9		
	退 職 被 保 険 者 等	現 年	医 療	57,310,280	56,140,163	6,135	-	1,170,117	97.9
			後 期	30,180,352	29,563,772	3,329	-	616,580	97.9
			介 護	30,383,929	29,794,362	3,289	-	589,567	98.0
		滞 納 繰 越	医 療	21,202,284	11,663,860	-	443,859	9,094,565	55.0
			後 期	8,168,742	4,816,957	-	129,213	3,222,572	59.0
介 護			9,116,520	5,683,160	-	147,516	3,285,844	62.3	
小 計	156,362,107	137,662,274	12,753	720,588	17,979,245	88.0			
合 計		3,284,682,118	2,636,500,130	723,200	61,997,060	586,184,928	80.2		
保 険 料 ・ 保 険 税 現 年 計 (再 掲)		2,609,140,200	2,454,526,746	630,600	43,900	154,569,554	94.0		
保 険 料 ・ 保 険 税 滞 繰 計 (再 掲)		675,541,918	181,973,384	92,600	61,953,160	431,615,374	26.9		

#### 5 国民健康保険料（税）収納区分

区 分	収 納 額	収 納 割 合
口 座 振 替 等	1,669,326,835 円	63.3%
臨 戸 徴 収 等	156,147,655	5.9
コ ン ビ ニ エ ン ス ス ト ア	410,951,549	15.6
金 融 機 関 等	400,074,091	15.2
計	2636,500,130	100.0

#### 6 国民健康保険料（税）滞納処分（差押）状況

区 分	不 動 産		電 話		計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
3 月 末	件 15	円 2,103,000	件 3	円 1,059,580	件 18	円 3,162,580

7 国民健康保険財政調整基金

旧年度繰越分	1,293,121,695 円
本年度中増減高	△124,407,580 円
うち 歳計剰余金積立	475,000,000 円
利子積立	592,420 円
取崩し	△600,000,000 円
本年度末現在高	1,168,714,115 円

8 平成 27 年度国民健康保険特別会計の決算見込みについて

歳入合計	15,929,710,655 円
歳出合計	15,550,653,716 円
歳入歳出差引額	379,056,939 円
基金積立金	279,000,000 円

9 保健事業

(1) 特定健康診査事業

メタボリックシンドローム等の早期発見を図る目的で、各医療保険者に義務付けられた健康診査を、40～74 歳の国民健康保険被保険者 26,381 人を対象に実施し、13,630 人が受診(受診率 51.7%)した。

(2) 健康づくり推進事業

がんなどの早期発見、早期治療を図るため、健康課実施の「がん検診」を受診した国民健康保険被保険者、延べ 20,702 人への検診費用の半額負担を行った。

検診項目は、骨粗しょう症検診・胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診・前立腺がん検診・子宮がん検診・乳がん検診。

(3) 健康増進・保健指導事業

① 医療を受けた被保険者に対し、健康の保持・増進についての自覚を促すとともに、医療費に対する認識をより深めてもらうため、年 4 回延べ 66,751 通の医療費通知を送付した。

② 医療費による経済的負担を軽減するジェネリック医薬品を利用した場合の差額通知を、送付し利用促進を行った。

10 第三者行為(交通事故等)等による診療費の求償状況

一般	41 件	19,217,379 円
退職	0 件	0 円
計	41 件	19,217,379 円

## ○ 福祉医療費関係

### 1 障害者医療費の助成

障がい者の保健の向上と福祉の増進を図るため、身体障害者手帳1級から4級または療育手帳A1からB1の方の医療費及び精神障害者保健福祉手帳1級の方の通院医療費を次のとおり助成した。

#### (1) 障害者医療費支給事業

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医療費の助成		証明書料の助成	
	資 格 認定者	資 格 喪失者	3月末 有資格者	延べ 件数	金 額	延べ 件数	金 額
人 2,376	人 315	人 351	人 2,340	件 57,332	円 235,621,278	件 53,217	円 10,643,400

#### (2) 65歳以上障害者医療費支給事業

障害者医療費の助成対象である後期高齢者医療被保険者の医療費を次のとおり助成した。

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医療費の助成	
	資 格 認定者	資 格 喪失者	3月末 有資格者	延べ 件数	金 額
人 2,410	人 285	人 323	人 2,372	件 71,228	円 171,260,579

### 2 こども医療費支給事業

乳幼児等の保健の向上と福祉の増進を図るため、中学校卒業前までの入院、通院にかかる医療費を次のとおり助成した。

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医療費の助成		証明書料の助成	
	資 格 認定者	資 格 喪失者	3月末 有資格者	延べ 件数	金 額	延べ 件数	金 額
人 14,332	人 1,929	人 2,209	人 14,052	件 168,180	円 302,316,329	件 160,535	円 32,107,000

### 3 一人親家庭等医療費支給事業

満18歳年度末までの児童を養育する母(父)子家庭の母(父)及びその児童並びに父母のいない満18歳年度末までの児童の保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費を次のとおり助成した。

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医療費の助成		証明書料の助成	
	資 格 認定者	資 格 喪失者	3月末 有資格者	延べ 件数	金 額	延べ 件数	金 額
人 2,783	人 316	人 269	人 2,830	件 30,631	円 69,439,603	件 29,172	円 5,834,400



#### 4 寡婦医療費支給事業

寡婦（60歳から69歳までの女子で、配偶者と死別し、その時に20歳未満の者を扶養していた者。ただし、現在、婚姻している者を除く。）の保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費の一部を次のとおり助成した。

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医療費の助成		証明書料の助成	
	資 格 認定者	資 格 喪失者	3月末 有資格者	延べ 件数	金 額	延べ件 数	金 額
人 15	人 6	人 3	人 18	件 24	円 164,476	件 20	円 4,000

#### 5 支給事業協力経費

市民の健康の向上及び地域医療への貢献を考慮し、医師会等に協力費を支払った。

伊勢地区医師会	25,700,000 円
伊勢地区歯科医師会	3,300,000 円
計	29,000,000 円

### ○ 後期高齢者医療制度関係

後期高齢者医療制度においては、各種届出や申請の受付等の窓口業務、保険料の徴収、制度についての相談への対応、広報等が市の業務とされており、保険者である三重県後期高齢者医療広域連合と連携し制度の運営にあたった。

#### 1 被保険者数の状況

被保険者数	平成 27 年 3 月末	平成 28 年 3 月末	増 減
伊 勢 市	19,249 人	19,601 人	352 人
三重県広域連合全体	245,008	251,251	6,243

#### 2 医療給付等の申請受付件数

区 分	件 数
高額療養費支給申請	2,615 件
療養費支給申請	1,887
葬祭費支給申請	1,168

#### 3 後期高齢者医療保険料の収納状況

(1) 後期高齢者医療保険料収納状況

区 分	調 定 額	収入済額	収入済額に含む 還付未済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	
現 年 度	特別 徴収	円 700,765,612	円 701,430,299	円 664,687	円 —	円 △664,687	% 100.0
	普通 徴収	427,776,264	422,293,679	39,563	—	5,482,585	98.7
	計	1,128,541,876	1,123,723,978	704,250	—	4,817,898	99.5
滞納 繰越	11,483,948	4,250,705	800	1,399,989	5,833,254	37.0	
合 計	1,140,025,824	1,127,974,683	705,050	1,399,989	10,651,152	98.9	

(2) 後期高齢者医療保険料収納区分

区 分	収 納 額	収 納 割 合
特 別 徴 収	701,430,299 円	62.2%
口 座 振 替	331,974,436	29.4
臨 戸 徴 収	4,457,906	0.4
コンビニエンスストア	28,345,789	2.5
金 融 機 関 等	61,766,253	5.5
計	1,127,974,683	100.0

○ 国民年金関係

1 適用事務

市民の年金受給権を確保し、老後の生活の安定を図るため、適用対象者を把握し、届出指導を実施した。

区 分	年 度 当 初 被 保 険 者 数	年 度 末 被 保 険 者 数	増減数
第1号被保険者	16,152 人	15,462 人	△690 人
任意加入被保険者	225	208	△17
第3号被保険者	8,918	8,672	△246
計	25,295	24,342	△953

2 届出書等受理

被保険者並びに受給者に対する各種届出の指導を実施し、関係届書の受理、審査、進達を行った。

(1) 被保険者資格関係届等受理状況

区 分	件 数
資格取得・喪失・種別変更	2,690 件
住 所 変 更	3,514
法 定 免 除 ・ 申 請 免 除	6,181
そ の 他	540
計	12,925

(2) 裁定請求等受理状況

区 分	件 数
老 齢 ・ 通 算 老 齢 ・ 老 齢 基 礎 年 金	15 件
障 害 基 礎 年 金	48
遺 族 基 礎 年 金	0
寡 婦 年 金	0
未 支 給 年 金	64
死 亡 一 時 金	8
現 況 届	1,156
特 別 障 害 給 付 金	0
そ の 他	20
計	1,311

(3) 老齢福祉年金関係届受理状況

区 分	件 数
未 支 給 年 金 請 求	0 件
現 況 届	1
失 権 届	0
そ の 他	0
計	1

# 介 護 保 険 課

## ○ 地域住民生活等緊急支援関係

### 1 介護用品支給事業

国からの「地域住民生活等緊急支援交付金」を活用し、介護保険特別会計の介護用品支給事業利用券に加え、介護保険において要介護2から要介護5と認定され、かつ在宅にて介護を受けている者（入院中も含む）のうち、市民税非課税世帯に該当する者に対して、介護に必要な紙おむつ・尿取りパッド・紙パンツ・清拭剤・ドライシャンプー、防水シート、口腔ケア用の介護用品の購入費用について、その一部をクーポン券の支給により補助し、高齢者福祉の更なる向上と介護負担の軽減を図った。

支給者数 1,001人

支給枚数 40,734枚（1枚あたり1,000円）

利用枚数 34,206枚

事業費 34,755,743円（うち事務費 549,743円）

## ○ 社会福祉関係

### 1 福祉有償運送普及促進支援事業

福祉有償運送を実施する非営利法人に対して、福祉車両の購入経費の一部を補助し、福祉有償運送の継続的な安全性・利便性を図り、要介護者・身体障がい者などの移動制約者に対する安全で安心な移動手段を確保した。

#### （1）補助金

補助金交付先	所在地	補助金額
医療法人 全心会	宮町1丁目12-18	円 300,000

### 2 老人福祉施設建設等補助金

伊勢市第7次老人福祉計画・第6期介護保険事業計画に基づき、市が選定した法人が行う地域密着型サービス施設が円滑に開設できるよう、開設準備に係る必要経費に対して補助を行うとともに、利用者の安心・安全を確保するため市内に所在する介護施設等が行う防災改修に係る経費に対して補助を行った。

#### （1）補助金

##### ア 介護施設等の施設開設準備経費等支援事業

補助金交付先	施設名	所在地	補助金額
株式会社 森伸	ケア・パートナー森伸明野 (認知症対応型共同生活介護事業所)	小俣町明野1324-1	円 11,178,000

イ 既存施設のスプリンクラー設備等整備事業

補助金交付先	施設名	所在地	補助金額
有限会社 エフ	住宅型有料老人ホーム 神都の杜	一之木4丁目11-33	円 8,537,000

3 介護未経験者研修支援事業

介護に従事する人材の確保及び介護職員の資質の向上を図るため、介護職員初任者研修に係る費用の一部を助成した。

(1) 補助金

補助金交付先	所在地	補助金額
医療法人 海野内科	浦口2丁目2-13	円 100,000
有限会社 くろべ	御菌町高向481番地	100,000
特定非営利活動法人ときわ会 藍ちゃんの家	常磐2丁目10-12	100,000

○ 介護保険料関係

1 介護保険料の収納

収納率の向上を図るため、口座振替制度の推進、コンビニ収納、訪問、文書、電話による自主納付の指導、介護保険制度の周知及び理解促進に努めた。平成27年度の介護保険料基準額等について、ホームページ、広報への掲載、納入通知書にパンフレットを同封するなどの方法により周知を行った。

(1) 介護保険加入第1号被保険者数

被保険者数	特別徴収		普通徴収	
	人数	構成比	人数	構成比
人	人	%	人	%
38,332	35,562	90.0	3,952	10.0

※ 被保険者数は平成28年3月末事業状況報告より

※ 徴収区分別人数は調定資料納付義務者数（併徴者を按分）より

(2) 介護保険料収納状況（平成28年5月末）

区分	調定額	収入済額	還付未済額	収納額	不納欠損額	収入未済額	収納率
現年度分	特別徴収 円	円	円	円	円	円	%
	2,412,801,330	2,415,248,970	2,447,640	2,412,801,330	—	△2,447,640	100.0
	普通徴収	円	円	円	円	円	%
	217,076,080	195,325,810	167,850	195,157,960	—	21,750,270	89.9
計	2,629,877,410	2,610,574,780	2,615,490	2,607,959,290	—	19,302,630	99.2

滞納繰越分	特別徴収	円 0	円 0	円 0	円 0	円 -	円 0	% -
	普通徴収	55,266,448	17,042,639	12,100	17,030,539	9,513,963	28,709,846	30.8
	計	55,266,448	17,042,639	12,100	17,030,539	9,513,963	28,709,846	30.8
合計		2,685,143,858	2,627,617,419	2,627,590	2,624,989,829	9,513,963	48,012,476	97.8

(3) 介護保険料収入区分

区 分	収入額	収入割合
口 座 振 替	円 69,617,276	% 2.7
訪 問 徴 収 等	32,368,100	1.2
金 融 機 関 等	60,861,119	2.3
特 別 徴 収 分	2,415,248,970	91.9
コ ン ビ ニ 収 納 分	49,521,954	1.9
計	2,627,617,419	100.0

○ 介護認定関係

1 申請及び認定状況

介護保険法に基づく要介護等認定申請件数及び要介護等認定者数は、次のとおりである。

(1) 要介護等認定申請件数

新規申請	更新申請	区分変更申請	計	転入申請	合計
件	件	件	件	件	件
1,805	5,126	1,179	8,110	38	8,148

(平成27年4月～平成28年3月)

(2) 要介護等認定者数

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人	人	人	人	人	人	人	人
1,129	1,037	1,623	1,243	919	984	827	7,762

(平成28年3月末現在)

2 介護認定審査会の状況

介護保険法及び伊勢市介護保険条例に基づき、伊勢市介護認定審査会を設置し、要介護認定等に係る審査判定業務を行った。

(1) 委員数 68人 (平成27年4月現在 17合議体・1合議体4人で構成)

(2) 委員構成 医療関係者 44人

(医師24人、歯科医師6人、薬剤師4人、看護師5人、理学療法士2人、作業療法士1名、柔道整復師2人)

福祉関係者 19人

保健関係者 5人

(3) 開催回数 204回

(4) 判定件数 ※申請件数との相違は、前年度からの持越し等による。

非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
件	件	件	件	件	件	件	件	件
40	1,261	1,190	1,872	1,050	757	873	760	7,803

(平成27年4月～平成28年3月)

### 3 認定調査の状況

介護保険法に基づき、要介護等認定申請に係る被保険者の訪問調査を実施した。

(平成27年4月～平成28年3月)

(1) 調査件数 7,836件 (※申請件数との相違は、再調査、翌年度への持越し等による。)

内訳 市職員によるもの 7,564件

委託(居宅介護支援事業者等)によるもの 272件

(2) 調査員数 17人(嘱託職員15人、非常勤職員2人 ※平成28年3月末現在)

## ○ 介護給付関係

### 1 指導監査

介護サービスの質の確保及び保険給付の適正化を図り、もって介護保険事業の健全な運営を図るため、地域密着型サービス事業者に対し指導監査を実施した。

内訳 指導 認知症対応型共同生活介護 1回

認知症対応型通所介護 1回

小規模多機能型居宅介護 2回

### 2 伊勢市介護保険推進協議会の開催

本市における介護保険事業について、市民等から意見を聴き円滑な運営を図るため、伊勢市介護保険推進協議会を開催した。

(1) 委員数 19人

(2) 委員構成 学識経験者1人、保健・医療関係者3人、自治会代表3人、民生委員代表2人、老人クラブ代表1人、介護保険施設代表1人、居宅サービス事業者代表3人、障害者団体代表1人、介護保険被保険者代表4人

(3) 開催実績 3回

### 3 介護給付費通知書の発送

介護保険の在宅サービス利用者に対して、過去3か月間に利用したサービスの内容や保険給付額を記載した介護給付費通知書を発送した。利用者がどのようなサービスを利用したか確認でき

ることにより事業所の不正請求の予防となり、また、保険給付額や自己負担額を知らせることにより適正なサービス利用を促した。

(1) 対象サービス

介護保険の在宅サービス

(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設及び特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)は、対象外)

(2) 発送実績

発送日	発送件数	利用対象月
27. 6. 25	4,718 件	27. 1. 1～27. 3. 31利用分
27. 9. 28	4,763	27. 4. 1～27. 6. 30利用分
27. 12. 28	4,806	27. 7. 1～27. 9. 30利用分
28. 3. 28	4,876	27. 10. 1～27. 12. 31利用分
計	19,163	—

4 保険給付

介護保険法に基づき、要介護(要支援)被保険者に対して次のとおり保険給付を行った。

(1) 居宅介護(介護予防)サービス月別受給者数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
4月	617 人	663 人	1,095 人	961 人	537 人	481 人	342 人	4,696 人
5月	623	687	1,112	964	552	464	345	4,747
6月	618	674	1,105	990	554	470	330	4,741
7月	636	685	1,114	998	554	461	322	4,770
8月	650	680	1,125	1,003	553	472	330	4,813
9月	640	676	1,135	1,007	559	470	336	4,823
10月	625	677	1,142	997	565	466	344	4,816
11月	634	681	1,151	996	543	485	349	4,839
12月	628	709	1,172	981	569	493	351	4,903
1月	614	706	1,182	986	559	502	348	4,897
2月	625	713	1,198	977	559	518	360	4,950
3月	631	716	1,194	975	564	512	353	4,945
合計	7,541	8,267	13,725	11,835	6,668	5,794	4,110	57,940
月平均	628.4	688.9	1,143.8	986.3	555.7	482.8	342.5	4,828.3



(2) 地域密着型（介護予防）サービス月別受給者数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
	人	人	人	人	人	人	人	人
4月	5	6	100	114	109	93	69	496
5月	7	7	97	115	110	101	69	506
6月	6	6	92	101	110	99	65	479
7月	9	5	94	117	109	108	67	509
8月	9	5	100	119	109	107	72	521
9月	9	6	101	118	112	106	69	521
10月	10	7	100	116	107	104	73	517
11月	11	6	97	115	107	102	78	516
12月	13	6	94	116	107	101	78	515
1月	12	6	94	119	106	98	79	514
2月	14	6	93	122	101	99	82	517
3月	14	8	89	124	104	104	78	521
合計	119	74	1,151	1,396	1,291	1,222	879	6,132
月平均	9.9	6.2	95.9	116.3	107.6	101.8	73.3	511

(3) 施設介護サービス月別受給者数

	介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設	介護療養型 医療施設	計
	人	人	人	人
4月	727	434	7	1,168
5月	734	433	8	1,175
6月	728	435	8	1,171
7月	724	408	7	1,139
8月	727	412	7	1,146
9月	720	421	7	1,148
10月	718	421	8	1,147
11月	722	422	8	1,152
12月	718	422	8	1,148
1月	713	431	9	1,153
2月	713	439	8	1,160
3月	710	430	8	1,148
合計	8,654	5,108	93	13,855
月平均	721.2	425.7	7.8	1,154.6

(4) 保険給付費

経 費	件 数	金 額	摘 要
居宅介護(介護予防)サービス給付費 (内訳) 訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 通所介護 通所リハビリテーション 福祉用具貸与 短期入所 居宅療養管理指導 特定施設入居者生活介護 特定診療費	件 120,002 20,200 973 8,831 1,718 33,286 8,017 30,163 6,626 6,810 3,376 0	円 5,613,302,547 1,059,945,726 51,373,675 382,333,812 57,230,510 2,181,713,687 379,968,369 344,971,921 558,273,649 42,449,002 554,976,676 0	給付費償還払い (給付制限) 2件 65,520 円含む
地域密着型介護(介護予防)サービス給付費 (内訳) 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 夜間対応型訪問介護 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	6,308 1,558 0 701 808 2,426 594 221	1,098,657,681 380,173,260 0 176,220,583 86,648,214 434,926,968 6,564,175 14,124,481	
施設介護サービス給付費 (内訳) 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 特定診療費 食事費用額	14,058 8,684 5,182 96 96 0	3,409,697,005 2,099,030,125 1,277,223,073 32,814,995 628,812 0	
居宅介護(介護予防)福祉用具購入費	639	15,996,328	腰掛便座 257件 排泄処理装置の部品 0件 入浴補助具 512件 簡易浴槽 4件 リフトつり具 3件 (※複数購入者有)

居宅介護（介護予防）住宅改修費	件 723	円 68,552,772	手すり取付け 542件 段差解消 106件 通路面変更 26件 扉等取替 22件 便器取替 27件 (※複数工事者有)
居宅介護（介護予防）サービス計画給付費	53,164	591,447,067	
高額介護（介護予防）サービス費	21,732	201,726,042	
特定入所者介護（介護予防）サービス費	12,671	479,102,648	
高額医療合算介護（介護予防）サービス費	1,152	27,683,317	

(注) 保険給付費は、(1)、(2)及び(3)に掲げる受給者のうち、平成27年3月から平成28年2月までの受給者に係るものである。(現物給付分は3月から翌年2月分までのサービス提供に係る保険給付を一つの会計年度として取り扱うこと等による。)

## 5 家族介護交流事業

介護保険において要介護1～5に認定された方を在宅にて介護している家族を対象に、日帰り旅行等を活用した介護者相互の交流会を行い、介護から一時的に解放されることで心身の元気回復を図った。

第一回（平成27年9月11日実施） 伊勢市ハートプラザみその・伊勢外宮前勢乃國屋 豊恩館 レストラン 勾玉亭・伊勢市内宮前 おかげ横丁

参加者 35人

支出額 76,257円

第二回（平成28年2月17日実施） 伊賀の里モクモク手づくりファーム直営農場 レストラン 風にふかれて・三重県総合博物館 MieMu

参加者 33人

支出額 100,844円

## 6 介護用品支給事業

介護保険において要介護4又は5と認定され、かつ在宅にて介護を受けている者（入院中も含む）のうち、市民税非課税世帯に該当する者に対して、介護に必要な紙おむつ・尿取りパッド・紙パンツ・清拭剤・ドライシャンプーの購入費用について、その一部をクーポン券の支給により補助し、高齢者福祉の更なる向上と介護負担の軽減を図った。

支給者数 576人

支給枚数 27,642枚（1枚あたり1,000円）

利用枚数 20,885枚

事業費 21,407,212円（うち事務費 522,212円）

## 7 家族介護慰労事業

一定の要件を満たす在宅の高齢者等を介護する家族に対して、家族介護等慰労金を支給し、その家族の精神的及び経済的負担の軽減を図った。

対象者数 3人

支給金額 300,000円

## 8 住宅改修支援事業

介護保険の要介護又は要支援の認定者で、居宅介護支援の提供を受けていない者が、適切な住宅改修がおこなえるよう、住宅改修費の支給申請に必要な「理由書」の作成者に対し助成を行った。

対象者 居宅介護支援事業所等

作成件数 215件

助成金額 430,000円

## 9 介護相談員派遣事業

介護保険サービス利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに事業所におけるサービスの質的な向上を図るため、介護相談員を派遣し、利用者の相談業務を行った。

また、活動及び相談内容を載せた介護相談員だよりを発行(年3回)し、市内介護サービス事業所へ送付した。

介護相談員数 10人

派遣先事業所 20法人59事業所

## 10 介護保険制度の周知

介護保険制度や事業計画について、パンフレットの配布・広報への掲載等による周知活動を行うとともに説明会を実施した。

### (1) パンフレットの配布

「あったかいね介護保険」、「くらしのみかた介護保険ハンドブック」、「特定福祉用具の購入をお考えの方へ」、「介護保険の住宅改修」、「介護保険料だより」を作成し、窓口配布を行った。

### (2) 説明会等の実施

人材育成カレッジにて、市職員に対し介護保険制度の講習を実施した。(1回)

### (3) 広報いせ

保険料や介護保険制度改正内容の周知、家族介護交流事業に関するお知らせ、介護相談員の募集などを行った。(8回)

### (4) ケーブルテレビ

家族介護交流事業の参加者募集、介護未経験者研修支援事業について周知を行った。(3回)

(5) ホームページ

介護保険制度改正内容や介護保険推進協議会の開催、介護保険における個人番号の取扱いについて掲載した。

11 ケアプラン点検実施事業

(1) 伊勢市ケアプラン点検実施要綱に基づき設置したケアプラン点検委員会においてケアプランを点検し、介護給付等の適正化を図ることで利用者に対する適切な介護サービスの確保に努めた。

委員数 10人

委員構成 居宅介護支援事業所3人、地域包括支援センター4人、事務局3人

開催回数 3回

点検件数 12件

(2) 介護支援専門員を対象に、介護保険制度の知識とケアマネジメントの基本的な考え方を学ぶ機会として、介護給付適正化推進セミナーを開催した。

開催実績 1回

参加者数 93名

# 地 域 包 括 ケ ア 推 進 課

## ○ 老人福祉関係

### 1 地域支え合い活動事業継続支援補助金

過年度に地域支え合い体制づくり事業補助金を利用して新規に立ち上げた事業について、継続を支援するために補助金を交付し地域における日常的な支え合い活動体制の定着と強化を図った。

事業者名	事業内容	補助金額
厚生地区まちづくりの会	買物支援事業「厚生お助け隊」	円 1,000,000
一色町「食」支援の会	一色町「食」支援の会高齢者支援事業	1,000,000
計	—	2,000,000

## ○ 在宅支援事業関係

### 1 生きがい活動支援通所事業

65歳以上の在宅の高齢者で、介護保険で「非該当」又は自立とみなされる虚弱な高齢者を対象に、デイサービスセンター等への通所により、教養講座、日常動作訓練、趣味創作活動等サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、心身機能の維持を図るとともに、要介護状態への進行の予防を図った。

実施事業所数	利用延べ人員	利用延べ回数	金額
12事業所	388人	1,476回	3,295,040円

### 2 軽度生活援助事業

65歳以上の一人暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯で、日常生活上の援助が必要な者に対して、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、在宅での自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行防止を図った。

事業所名	利用延べ人数	利用延べ回数	金額
公益社団法人 伊勢市シルバー人材センター	143人	304回	416,565円

## ○ 地域支援事業（介護予防事業・包括的支援事業）

### 1 高齢者いきいき活動事業に関する業務

地域包括ケアシステムの構築に向けたボランティアポイントの検討のため、先進地視察を行った。

- ・視察先 川崎市、品川区

## 2 二次予防事業対象者把握事業

### (1) 二次予防事業対象者把握

要介護状態となるおそれのある二次予防事業対象者の早期発見と、介護予防についての啓発を行うために、心身の状態を確認するための「いきいきチェック表」を75歳に郵送し、二次予防対象者の把握を行った。

いきいきチェック送付者数	1,291 件
いきいきチェック返送者数	942 件
回収率	73.0%
二次予防事業対象者数	215 件

### (2) 介護予防検査

介護予防事業参加にあたり心身の状況を把握するために、二次予防事業対象者に介護予防検査を実施し、医師の指示を得て安全な事業の実施に努めた。県内医療機関に委託を行った。

介護予防検査実施数	6 人
-----------	-----

## 3 地域包括支援センター運営事業

保健・医療・福祉の連携の拠点のさらなる充実と、高齢者の生活を総合的に支える地域包括ケアの推進にむけ高齢者の支援体制の強化・充実を図るため、地域包括支援センターの委託を行った。

### (1) 委託先および業務委託料

委 託 先	業務委託料	う ち 支 出 済 額
伊勢市西地域包括支援センター (社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会) (委託期間：平成26年度～平成28年度)	17,000,000 円	5,000,000 円 (27. 4)
		4,000,000 円 (27. 7)
		4,000,000 円 (27.10)
		4,000,000 円 (28. 1)
伊勢市東地域包括支援センター (社会福祉法人 洗心福祉会) (委託期間：平成26年度～平成28年度)	17,000,000	5,000,000 円 (27. 4)
		4,000,000 円 (27. 7)
		4,000,000 円 (27.10)
		4,000,000 円 (28. 1)
伊勢市南地域包括支援センター (社会福祉法人 伊勢医心会) (委託期間：平成26年度～平成28年度)	17,000,000	5,000,000 円 (27. 4)
		4,000,000 円 (27. 7)
		4,000,000 円 (27.10)
		4,000,000 円 (28. 1)

伊勢市中心部地域包括支援センター (社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会) (委託期間：平成 26 年度～平成 28 年度)	17,000,000 円	5,000,000 円 (27. 4)
		4,000,000 円 (27. 7)
		4,000,000 円 (27.10)
		4,000,000 円 (28. 1)

(2) 実施状況

ア 介護予防ケアマネジメント事業

地域包括支援センター名	支援件数
伊勢市西地域包括支援センター	10 人
伊勢市東地域包括支援センター	11
伊勢市南地域包括支援センター	4
伊勢市中心部地域包括支援センター	5
計	30

イ 総合相談・権利擁護事業

①相談件数

地域包括支援センター名	延相談者数 ( ) 内実数	(再掲)訪問者延数
伊勢市西地域包括支援センター	574 (305) 件	203 件
伊勢市東地域包括支援センター	634 (386)	435
伊勢市南地域包括支援センター	630 (347)	272
伊勢市中心部地域包括支援センター	445 (246)	271
計	2,283 (1,284)	1,181

②地域でのケア会議および講座等開催回数

地域包括支援センター名	開催回数	参加者数
伊勢市西地域包括支援センター	21 回	1,052 人
伊勢市東地域包括支援センター	14	353
伊勢市南地域包括支援センター	14	266
伊勢市中心部地域包括支援センター	12	502
計	61	2,173

ウ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

地域包括支援センター名	ケアマネジャー支援延件数	検討会議開催回数
伊勢市西地域包括支援センター	49 件	18 回
伊勢市東地域包括支援センター	65	23
伊勢市南地域包括支援センター	91	5
伊勢市中心部地域包括支援センター	49	10
計	254	56



#### 4 在宅介護支援事業

在宅の高齢者や要援護高齢者の介護者に対し在宅介護に関する総合的な相談に応じるとともに、当該高齢者及びその介護者のニーズに対応した介護福祉サービスが総合的に受けられるよう、関係機関との連絡調整を行い、当該高齢者及びその家族の福祉の増進を図った。

##### (1) 実施状況

委託先	委託先箇所数	業務委託料
在宅介護支援センター	9 か所	6,300,000 円 (1 か所 700,000 円)

##### (2) 実施内容

###### ア 相談業務

在宅介護支援センター名	延相談者数 ( ) 内実数	(再掲)訪問者実数
在宅介護支援センター神路園	63 (54) 人	12 人
在宅介護支援センター双寿園	68 (68)	3
在宅介護支援センター白百合園	76 (60)	5
在宅介護支援センター山咲苑	73 (52)	16
在宅介護支援センター正邦苑	27 (24)	17
みなと在宅介護支援センター	15 (14)	26
在宅介護支援センター楽寿苑	40 (40)	2
二見ふれあいプラザ	62 (54)	17
小俣在宅介護支援センター	54 (52)	7
計	478 (418)	105

#### 5 総合相談・権利擁護業務

##### (1) 総合相談業務

高齢者の生活を福祉、医療、介護、保健など総合的に支えていくために、保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャーが、高齢者本人や家族からの相談に対し、さまざまな制度や社会資源等の説明および支援を行った。

###### ア 相談件数

区分	実数	延数
件数	336 件	347 件

###### イ 相談方法

区分	電話	来所	その他	計
延数	152 件	174 件	21 件	347 件

ウ 相談内容

(単位：件)

区分	生活	介護	施設	認知	医療	福祉	虐待	消費者	成年後見制度	その他	合計
延数	86	89	34	66	9	4	27	2	1	29	347

※虐待相談件数には疑い事例も含む。

(2) 権利擁護業務

高齢者の人権や財産を守るため、地域の様々な福祉・保健・医療などの関係機関と連携をとりながら、虐待の防止や早期発見・対応を行うとともに、悪徳商法などの消費者被害の未然防止や成年後見制度等の活用の促進に努めた。

ア 高齢者虐待についての相談・通報対応件数等

養護者による虐待に関する相談・通報対応件数（実数）	23 件
事実確認により虐待を受けたと思われると判断した事例	19 件

イ 虐待の種類（重複） ※上記、虐待と判断した 19 事例についての虐待の種類

区分	身体的	介護・世話の 放棄・放任	心理的	性的	経済的
件数	10 件	6 件	7 件	0 件	9 件

6 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

在宅と施設・病院等の間での継続的なケアマネジメントを確立と向上のために、困難事例や地域のケアマネジャーが抱える日常業務における相談に対応し支援助言を行った。

(1) ケアマネジャーの相談

区 分	実 数	延 数
件 数	22 件	22 件

(2) ケアマネジャーの支援

ア 支援困難事例ケア会議 28 回

イ 事例検討会 9 回

7 在宅支援連携に関する業務

誰もが安心して住みなれた地域で最後まで暮らすために、在宅生活を支援する医療・保健・介護・福祉等の関係職種との連携の推進を目的に在宅支援ネットワークの構築を行った。

(1) 在宅支援ネットワーク連絡会の開催

開催回数	延参加者
4 回	72 人

(2) 地域包括ケア会議・いせの開催

在宅生活を支援する医療・保健・介護・福祉等の関係職種を対象とした研修会を開催し、多様な職種の連携の推進を図った。

開催回数	延参加者
4回	444人

### (3) 地域包括ケアシステム啓発講演会の開催

市民等を対象に地域包括ケアシステムの啓発を目的に講演会を開催した。

- ア 日時 平成27年11月29日(日)  
場所 いせシティプラザ 2階 多目的ホール  
参加者 200人(市民、医療・保健・介護・福祉等の関係者)  
内容 「地域で看取る」ホームホスピスの役割  
(講師 認定NPO法人ホームホスピス宮崎理事長 市原 美穂さん)
- イ 日時 平成28年3月6日(日)  
場所 三重県伊勢庁舎4階401会議室  
参加者 170人(市民、医療・保健・介護・福祉等の関係者)  
内容 「認知症～三重県の現状と対策について」  
(講師 三重大学病院認知症センター認知症医療相談室室長 木田 博隆氏)

## 8 生活支援体制整備に関する業務

介護予防・日常生活支援総合事業にかかる生活支援の充実、高齢者の社会参加、支え合い体制づくり、介護予防の推進、関係者間の意識共有と自立支援に向けたサービスの推進を構築するために生活支援コーディネーターを配置するための委託を行った。

### ・生活支援コーディネート事業

委託先 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会 2,933,000円

## 9 認知症施策に関する業務

認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症高齢者にやさしい地域づくりの推進を行った。

### (1) 認知症サポーター養成講座の開催

認知症に対する理解を深め、地域で見守る支援者の増加を目的に講座を開催し認知症サポーターの養成を行った。

開催回数	参加者
38回	1,156人

認知症サポーター数 5,793人(平成28年3月31日現在)

### (2) 認知症初期集中支援推進事業

認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族に早期に関わり対応を行うことにより、専門機関受診や重症化を防ぐことを目的に、認知症専門医や保健福祉の専門職による「認知症初期集中支援チーム」を配置し支援体制の構築と個別の支援を行った。

会議開催回数	支援件数（ ）内実件数
4回	8件（4件）

(3) 徘徊SOSネットワーク事業

徘徊のおそれのある認知症高齢者の日頃からの見守りと、早期発見・保護を目的に希望者の事前登録制度を実施し、地域や関係機関でのネットワークの構築を行った。

- ・徘徊SOSネットワーク「いせ見守りてらす」登録制度

登録者数 43名（平成28年3月末現在）

協力機関数 11機関 83支店

(4) 徘徊SOS家族支援サービス事業

認知症高齢者等が徘徊した場合に位置情報提供システム（GPS 端末機器）を活用し高齢者の位置を特定することにより、早期発見および徘徊時の事故防止を図るとともに、在宅で介護を行っている家族の負担軽減を図ることを目的に、位置情報提供システム（GPS 端末機器）の貸与と初期費用の助成を行う制度の立ち上げを行い、対象者に利用勧奨を行った。

(5) 高齢者の見守り支援等に関する協定の締結

高齢者が住み慣れた地域で自立した暮らしを安心して続けられるまちづくりを目的に、高齢者等の見守り活動や、認知症サポーターの養成、高齢者等の雇用の推進等について協定を締結した。

締結先	締結年月日	協定の名称
株式会社 第三銀行	26. 7. 22	高齢者に優しい取組みに関する協定
株式会社 ギューとら	27. 7. 23	高齢者の見守りと支援に関する協定

10 食の自立支援事業

高齢者の食の自立を目的として、65歳以上の一人暮らし又は高齢者のみの世帯で、栄養改善が必要で調理が困難な虚弱な高齢者に対し、定期的に居宅に訪問して栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、安否確認を併せて行い、日常生活の支援を行った。

実施事業所数	利用実人数	利用回数	金額
4事業所	173人	14,518回	5,226,480円

## 生 活 支 援 課

### ○ 社会福祉扶助

行旅者の一時扶助取扱状況

行旅病人等一時援護費	6 件	3,510 円
窮迫者等一時援護費	12 件	72,570 円
死体の埋葬・火葬	3 件	694,844 円

(墓地埋葬法・行旅病人及び行旅死亡人取扱法)

### ○ 生活保護関係

健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長することを目的とした生活保護法の理念に基づいて、適正な保護の実施に努めた。

#### 1 生活保護法による扶助実施状況（福祉行政報告例）

区分 月別	被保護 世帯数	被保護 人 員	保 護 の 状 況							
			生活 扶助	住宅 扶助	教育 扶助	介護 扶助	医療 扶助	出産 扶助	生業 扶助	葬祭 扶助
4	980	1,245	1,048	909	57	256	1,065	0	25	1
5	979	1,248	1,051	911	58	257	1,066	0	27	0
6	978	1,240	1,037	913	53	258	1,063	0	23	1
7	975	1,234	1,034	906	53	260	1,072	0	25	0
8	972	1,227	1,031	906	53	261	1,054	0	23	1
9	971	1,235	1,026	895	57	263	1,058	0	23	2
10	976	1,244	1,048	914	60	272	1,063	0	23	0
11	974	1,238	1,034	902	59	274	1,069	0	21	0
12	971	1,236	1,035	906	59	272	1,073	0	22	0
1	977	1,245	1,046	915	57	277	1,072	0	23	0
2	971	1,238	1,040	903	58	277	1,070	0	23	2
3	964	1,223	1,021	890	60	275	1,062	0	31	2
累計	11,688	14,853	12,451	10,870	684	3,202	12,787	0	289	9

#### 2 扶助費支給状況

種 別	延べ世帯数	延 べ 人 員	支 出 金 額	構 成 比
生活扶助	世帯 9,713	人 12,451	円 573,564,060	% 27.1
就労自立給付金	2	2	147,597	0.0
住宅扶助	8,566	10,870	244,308,541	11.5
教育扶助	423	684	7,825,079	0.4
介護扶助	3,032	3,202	72,417,399	3.3
医療扶助	10,536	12,787	1,176,522,410	55.5
出産扶助	0	0	0	0.0
生業扶助	230	289	5,152,186	0.3

葬祭扶助	世帯 9	人 9	円 1,520,299	% 0.1
小計	32,511	40,294	2,081,457,571	98.2
保護施設事務費	219	219	37,552,188	1.8
合計	32,730	40,513	2,119,009,759	100.0

### 3 生活困窮者面接相談

・目的 生活困窮者面接相談において、法の趣旨や他法他施策の活用も含めたきめ細かな指導・助言を専門的な立場から行い、自立に向けた適切な援助を実施、また処遇困難ケースに対する指導援助体制の整備強化を図った。

・実施内容 ケースワーカー、査察指導員等の経験者及び適切と認められる者を嘱託職員として雇用した。

#### (1) 新規相談者及び被保護者の面接相談

- ・申請の意思確認、保護の受給用件の説明
- ・面接記録票・面接受付簿等の作成
- ・他法他施策活用についての助言、指導
- ・自立に向けた適切な支援
- ・査察指導員及びケースワーカー等との連携
- ・その他、面接相談業務に必要な事務処理

#### (2) その他

- ・関係諸機関との連携
- ・ケースワーク事務の補助

月別	延べ相談者 件	生活保護申請件数 件
4	34	16
5	24	6
6	41	10
7	30	7
8	44	8
9	29	9
10	31	8
11	25	12
12	23	8
1	30	9
2	18	6
3	39	12
計	368	111

### 4 就労支援の状況

#### (1) 就労支援員設置事業

・目的 生活保護受給世帯や住居確保給付金受給者等に対して、就労意欲の喚起、履

生活支援課

書式変更: フォント: (英) MS ゴシック, (日) MS ゴシック

履歴の書き方や面接の受け方の指導、公共職業安定所への同行訪問等を行う就労支援員を設置し、就労による経済的自立の支援を図った。

- ・実施内容
  - 一般公募による募集により適切と認められる者を嘱託職員として雇用した。
  - ①被保護者等の就労支援
    - ・就労意欲の喚起と指導、助言
    - ・就労支援記録簿・支援計画票等の作成・整理
    - ・経済的自立に向けた適切な支援
    - ・査察指導員、ケースワーカー及び生活困窮者自立相談支援員との連携
    - ・その他、就労支援業務に必要な事務処理
  - ②その他
    - ・住居確保給付金事務
    - ・ハローワーク及びその他の関係諸機関との連携
    - ・ケースワーク事務の補助

・事業効果

就労支援による新規就職者数 生活保護受給者 実 36 人（延べ 41 人）  
生活困窮者 実 12 人（延べ 13 人）

(2) 生活保護受給者等就労自立促進事業

伊勢志摩地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会（伊勢公共職業安定所、三重県及び伊勢市・鳥羽市・志摩市・大紀町・玉城町・南伊勢町・度会町の各福祉事務所並びに各社会福祉協議会）に参画し、伊勢志摩地域における福祉部門と雇用部門の連携・協力を図り、効率的・効果的な就労支援を目指し実施した。

また、平成 27 年 5 月 29 日付、伊勢公共職業安定所と生活保護受給者等就労自立促進事業に関する協定書を締結しており、緊密な相互連携と協働に基づく就労支援を実施することにより、生活保護受給者等の就職による経済的自立の実現を図った。

・事業効果（延べ人数）

	対象者数及び成果（うち母子）		
	対象者数（人）	就職者数（人）	就職率（％）
生活保護受給者	40（5）	33（3）	82.5
児童扶養手当受給者	17	13	76.5
住宅支援給付又は住居確保給付金受給者	8	6	75.0
生活困窮者	5	4	80.0
合計	70	56	80.0

○ 住宅支援給付事業

1 概要

本事業は、離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又

は喪失するおそれのある者に対して、住宅支援給付を支給することにより、これらの者の住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行うものであり、平成 26 年度からの対象者のみに対して実施した。なお、本事業は、平成 27 年度から生活困窮者自立支援制度に組み込まれ住居確保給付金となり、平成 26 年度対象者が支給終了となり次第、終了となった。

## 2 効果

離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者に対して、住宅支援給付を支給することにより、これらの者の住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行うことで、就労意欲のある離職者等の生活が安定し、セーフティネット機能の強化・拡充につながった。

## 3 状況（平成 26 年度からの支給世帯数 2 世帯）

月別	延べ世帯数	支給月数	支給金額
	世帯	月	円
4	2	2	63,400
5	2	2	63,400
6	1	1	30,000
7	1	1	30,000
8	1	1	30,000
9	1	1	30,000
10	1	1	30,000
11	0	0	0
12(終了)	0	0	0
計	9	9	276,800

## ○生活困窮者自立相談支援事業

平成 27 年度から施行の「生活困窮者自立支援法」に基づき、必須事業である「自立相談支援事業」及び「住居確保給付金の支給」、また任意事業である「就労準備支援事業」及び「子どもの学習支援事業」を実施し、生活に困窮する市民（生活困窮者）が抱える複合的な生活課題を包括的に支援した。

### 1 自立相談支援事業

#### (1) 概要

生活困窮者の相談に応じ、聴き取り等によって、個々の人の状態にあった支援計画を相談者本人と一緒に考え作成し、福祉の様々な制度を活用していただきながら、自立に向けた支援を行った。

#### (2) 実施内容

面接相談員は、従来の生活保護相談における保護申請に至らなかった者に対して、生活の立て直しや活用できる支援策のアドバイスをを行うとともに、生活保護が必要な方には、確実に生活保護申請につないだ。また、自立相談支援員は、個々の相談に応じて、支援計画を作成し、困窮状態からの脱却を支援した。

書式変更：フォント：(英) MS ゴシック, (日) MS ゴシック



(3) 実績

新規相談者数 実 284 人（延べ 368 件）

①自立相談支援事業申込件数（本人同意あり）	27 人
・支援決定（法に基づく事業）	27 人
i）住居確保給付金	9 人
ii）就労準備支援事業	7 人
iii）自立相談支援事業による就労支援	11 人
・支援決定（その他）	23 人
i）生活福祉資金による貸付	7 人
ii）生活保護受給者等就労自立促進事業	16 人
・支援後終結件数	15 人
・一般就労開始を達成	5 人
②自立相談支援事業申込に至らず	257 人
・生活保護申請者数	111 人
・他法他施策や情報提供のみ	146 人

2 住居確保給付金の支給事業

(1) 概要

本事業は、離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者に対して、住居確保給付金を支給することにより、これらの者の住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行った。

(2) 効果

支援対象者に対し住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行うことで、就労意欲のある離職者等の生活が安定し、セーフティネット機能の強化・拡充につながり、就職に結びついたケースがあった。（就職者数 3 人）

(3) 状況（平成 27 年度支給世帯数 5 世帯）

月別	延べ世帯数	支給月数	支給金額
4	世帯 0	月 0	円 0
5	0	0	0
6	1	1	35,000
7	1	1	35,000
8	1	2	66,800
9	1	1	33,400
10	1	1	33,400
11	4	5	171,800
12	3	3	106,800
1	3	3	92,100
2	0	0	0

3	世帯 2	月 4	円 88,600
計	17	21	662,900

### 3 就労準備支援等事業

#### (1) 概要

即座に一般就労が困難な生活困窮者等に対し、生活習慣や社会適応能力の回復を図り、一般就労に必要な知識及び能力を向上するための生活訓練や社会訓練を委託事業にて実施した。また、就労準備支援事業（生活困窮者自立支援）と被保護者就労準備支援事業（生活保護）を一体的に実施し、事務の効率化を図った。

委託先：NPO法人いせコンビニネット

#### (2) 実施内容

委託事業者においては、相談受付及びアセスメント、日常相談及びカウンセリングなどの相談支援や、日常生活リズムの改善及びコミュニケーション訓練を行った。また、就労体験先として、昨年度から企業訪問を行ったが、さらに受け入れ可能な企業を新規開拓した。

#### (3) 実績

	就労準備 支援事業	被保護者就労準備 支援事業	合計
支援者数	実7人	実8人	実15人
面談回数	延べ132回	延べ87回	延べ219回
就職者数	実1人	実2人	実3人

・就労体験受入可能企業数30社（うち新規開拓数13社）

### 4 生活困窮家庭学習支援事業

#### (1) 概要

世代をまたぐ貧困の連鎖を防止するため、生活困窮世帯の子どもたちの自己実現力の助長と、将来設計や進路選択に関する相談・支援を実施した。

#### (2) 実施内容

生活保護世帯等の小中高生を中心に、就学や進路選択にかかる相談やアドバイス及び高校生にあっては中途退学の防止のための支援も行いながら、生活困窮者の将来設計に対する意識傾向や、学習に関する実態把握を実施した。

#### (3) 実績（延べ人数）

	小学生	中学生	高校生相当	合計
対象者数	39人	25人	30人	94人
訪問回数	38人 延べ119回	21人 延べ55回	25人 延べ158回	84人 延べ332回
継続支援者数	19人	14人	7人	40人

書式変更：フォント：(英) MS ゴシック, (日) MS ゴシック

生活支援課

# 福 祉 総 務 課

## ○ 災害関係

### 1 東日本大震災義援金受付

平成 22 年度	19,403,153 円	平成 25 年度	527,764 円
平成 23 年度	27,308,134 円	平成 26 年度	898,452 円
平成 24 年度	655,777 円	平成 27 年度	480,554 円
		計	49,273,834 円

## ○ 社会福祉関係

### 1 災害見舞金支給状況（「伊勢市災害見舞金支給要綱」による。災害救助法の適用を受けるに至らない災害罹災者対象）

#### ○火災による被災

火事全焼	6 件	300,000 円	死 亡	2 件	140,000 円
火事半焼、半壊	1 件	20,000 円			

#### ○台風による被災

床上浸水	11 件	220,000 円
------	------	-----------

### 2 民生委員・児童委員

#### （1）配置状況

ア 任期 自 平成 25 年 12 月 1 日  
至 平成 28 年 11 月 30 日

#### イ 定数

	22.12. 1	25.12. 1
民生委員・児童委員	270 人	274 人
主任児童委員	28	28
計	298	302

#### ウ 在職者数（平成 28 年 3 月 31 日現在）

	男	女	計
民生委員・児童委員	127 人	137 人	264 人
主任児童委員	4	24	28
計	131	161	292

#### エ 平成 28 年 3 月 31 日現在の状況

継続	新任	再任	計
188 人	103 人	1 人	292 人

#### オ 法定単位民生委員児童委員協議会 （平成 28 年 3 月 31 日現在）

協議会名	定数	委員数	未定	担当地区
五十鈴地区	33 (3) 人	32 (3) 人	1 人	進修・修道・四郷
倉田山地区	38 (3)	37 (3)	1	明倫・有緝

厚生地区	22 (2) 人	22 (2) 人	—	厚生
宮川地区	27 (2)	25 (2)	2 人	早修・中島
港地区	29 (3)	29 (3)	—	神社・大湊・浜郷
城田地区	14 (1)	14 (1)	—	城田
豊浜地区	14 (2)	12 (2)	2	豊浜
北浜地区	12 (2)	12 (2)	—	北浜
南部地区	20 (3)	20 (3)	—	宮本・沼木
二見地区	22 (2)	21 (2)	1	二見町
小俣地区	46 (3)	45 (3)	1	小俣町
御薊地区	25 (2)	23 (2)	2	御薊町
計	302 (28)	292 (28)	10	

※ ( ) はうち主任児童委員

(2) 民生委員・児童委員の委嘱（候補者の推薦）

欠員となった民生委員・児童委員の補充について、各自治会から報告のあった推薦候補者を伊勢市民生委員推薦会において審査を行い、三重県知事、厚生労働大臣へ推薦を行った。

ア 伊勢市民生委員推薦会

○任期 自 平成 27 年 8 月 1 日

至 平成 30 年 7 月 31 日

○定数 10 人以内

○委員の資格 民生委員、社会福祉事業の実施に関係のある者、市内の社会福祉関係団体の代表者、教育に関係のある者、関係行政機関の職員、学識経験のある者から市長が委嘱する。

イ 候補者の推薦にかかる審査（持ち回りによる審査）

	日 時	対 象
第 1 回	27. 4. 28	民生委員・児童委員 1 人
第 2 回	27. 6. 1	民生委員・児童委員 1 人
第 3 回	27. 6. 24	民生委員・児童委員 1 人
第 4 回	27. 7. 24	民生委員・児童委員 1 人
第 5 回	27. 8. 5	民生委員・児童委員 1 人
第 6 回	27. 12. 25	民生委員・児童委員 1 人
第 7 回	28. 1. 21	民生委員・児童委員 1 人

ウ その他の事案

	議 題
27. 5. 20	伊勢市民生委員推薦会規程の一部改正について 伊勢市民生委員推薦会委員の任期満了による改選について
27. 8. 5	伊勢市民生委員推薦会委員の任期満了による改選、委嘱状の交付

エ 本年度中の民生委員・児童委員の異動

27. 4. 1 現 在	27. 4. 1～28. 3. 31 の異動		28. 3. 31 現 在
	委 嘱	解 嘱	
291 人	7 人	6 人	292 人

(3) 民生委員・児童委員の年齢構成等（主任児童委員を除く）

(年齢構成)

平成 28 年 3 月 31 日現在

30 歳代	0 人 ( - %)	※75 歳以上	29 人
40 歳代	4 ( 1.5 )		(再掲)
50 歳代	16 ( 6.1 )	※平均年齢	68.2 歳
60 歳代	127 (48.1 )	※最高齢	80 歳
70 歳代	116 (43.9 )	※最年少	43 歳
80 歳代	1 ( 0.4 )		

(経験年数)

平成 28 年 3 月 31 日現在

1 年未満	7 人 ( 2.6%)	※最長経験年数 26 年
1 年以上～4 年未満	93 (35.2 )	
4 年以上～7 年未満	66 (25.0 )	
7 年以上～10 年未満	44 (16.7 )	
10 年以上～20 年未満	52 (19.7 )	
20 年以上	2 ( 0.8 )	

(4) 民生委員・児童委員の活動

12 地区の民生委員・児童委員協議会相互の情報収集と親睦を図るため、「伊勢市民生委員児童委員協議会連合会」を設置し、定期的に会議（理事会）を開催した。会議では、市や社会福祉協議会からの協力依頼や情報提供に基づき、各地区での取り組みなどを確認した。

ア 会議開催状況

開催日	協議事項
27. 4. 9	平成 26 年度事業報告案及び収支決算案、平成 27 年度事業計画案及び収支予算案、5 月 12 日「民生委員・児童委員の日」等協議
27. 5. 8	平成 27 年度定期総会、各種審議会委員選考、災害時要援護者支援ネットワーク会議からの要請等協議
27. 6. 5	三重県単位民児協会長研修会、各種研修会への参加等協議
27. 7. 3	全国民生委員児童委員大会への参加、全国民生委員互助共励事業会費等協議
27. 8. 6	平成 28 年 12 月の一斉改選にむけての民生委員・児童委員定数増減要望について等協議
27. 9. 4	三重県民生委員児童委員ブロック別研修会、啓発用パンフレット及び広報いせ 11 月号掲載記事等協議
27.10. 2	岐阜県各務原市民児協との交流会、災害時要援護者登録制度推進の課題及び避難支援プラン全体計画の改正への意見等協議
27.11. 6	三重県民生委員児童委員ブロック別研修会等協議
27.12. 4	伊勢市社会福祉大会等協議
28. 1. 7	平成 27 年度市・町民生委員児童委員協議会助成金、啓発パンフレット等協議
28. 2. 5	平成 28 年度事業等協議
28. 3. 4	平成 28 年度事業計画、5 月 12 日「民生委員・児童委員の日」一斉行動、啓発パンフレット等協議

イ 取り組み内容

①研修等の取り組み

開催日	協 議 事 項	参加者
27. 5. 16	講演「人権教育・啓発の課題～共に生きる社会を目指して～」 講師 伊勢市教育長 宮崎 吉博	人 248
27. 9. 8	在宅福祉研修会（県民児協主催） 講演「地域包括ケア～私たちでつなげる地域力」 講師 いせ在宅医療クリニック院長 遠藤太久郎 氏	43
27. 10. 20	石川県能美市との意見交換会（南志ブロック主催）	(注)
27. 11. 5	岐阜県各務原市民児協との交流会	8
27. 11. 13	防災セミナー（県南勢志摩活性化局主催） 講演「災害時の要援護者対策」を考える	(注)
27. 11. 30	ブロック別研修会（県民児協主催） 講演「地域包括ケアと民生委員の役割」 講師 三重大学大学院医学系研究科准教授 大西丈二氏	271
28. 2. 16	新任民生委員・児童委員研修会（県民児協主催）	7
28. 2. 23	相談に関する研修会（県社協主催） 講演「暮らしを支える、民生委員・児童委員の相談技法」 講師 元梅花女子大学准教授 植田寿之氏	24
28. 3. 14	民生委員・児童委員中堅（専門）研修会（県民児協主催）	11

(注) 市では参加者を把握していない。

②平成27年度の相談件数（※「活動における内容別・分野別相談件数」（福祉行政報告例に基づく）

内 容 別	民生委員	(再掲) 主任児童員
在宅福祉	537 件	0 件
介護保険	218	2
健康・保健医療	299	63
子育て・母子保健	553	408
子どもの地域生活	2,207	449
学校生活・子どもの教育	523	352
生活費	327	14
年金・保険	27	0
仕事	111	9
家族関係	333	91
住居	75	2
生活環境	410	34
日常的な支援	2,348	36
その他	2,836	31
計	10,804	1,491

分 野 別	民生委員	(再掲) 主任児童員
高齢者に関すること	5,225 件	34 件
障がい者に関すること	896	177
子どもに関すること	3,423	1,236
その他	1,260	44
計	10,804	1,491

③広報活動

	内 容
27. 5. 12	「民生委員・児童委員の日」活動強化週間（5月12日から5月18日） 全国一斉PR活動 ・市内の商業施設、イベント会場でPRチラシ入りティッシュ5,000個の配布し、活動についての啓発を行った。 ・各地区民児協での活動として、期間中、各委員が担当地区の高齢者世帯を中心に一斉訪問した。
27. 5. 1 27. 11. 1	「広報いせ」における活動の周知記事を掲載
その他	・広報委員会が活動PR用リーフレットの原案を作成し、10,000部を印刷。今後の訪問活動にも活用することとした。

(5) 主任児童委員の活動

ア 平成28年3月31日現在の状況

継続	新任	再任	計
18人	10人	—	28人

(年齢構成)

30歳代	0人（—）	※55歳以上	20人
40歳代	2（7.1%）		（再掲）
50歳代	12（42.9）	※平均年齢	59.2歳
60歳代	12（42.9）	※最高齢	72歳
70歳代	2（7.1）	※最年少	44歳

(経験年数)

1年未満	0人（—）	※最長経験年数	
1年以上～4年未満	10（35.7%）		
4年以上～7年未満	4（14.3）		19年
7年以上～10年未満	4（14.3）		
10年以上～20年未満	10（35.7）		

イ 学校等訪問

子どもたちの見守り活動のほか、市内教育機関との連携を強化し、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように学校等訪問活動を行った。

ウ 研修の取り組み

開催日	研修内容	参加者
27. 6. 9	南勢志摩ブロック主任児童委員研修会 講師 社会福祉法人おおすぎ 理事長 柳 誠四郎	25人
27. 10. 1	三重県主任児童委員研修会（県社協） 講義 「発達障がいとは」 「発達障がいの理解と対応～事例をもとに～」 講師 浜松学院大学短期大学部准教授 志村浩二 氏	21
27. 11. 6	南勢志摩ブロック主任児童委員部会研修会 講演 「精神疾患の親と暮らす子どもが抱える問題とその支援について」 講師 鈴鹿医療科学看護学科准教授 土田幸子 氏	20
27. 11. 10	伊勢市子ども家庭支援ネットワーク研修会 講演 「整形外科医の眼から診た児童虐待」 講師 医療法人河口外科 院長 河口大介 氏	40

エ こんにちは赤ちゃん事業

保健師が行っている新生児等訪問指導と併行して、安心して子育てが出来る環境を整えるため、「こんにちは赤ちゃん事業」を平成 23 年 10 月から開始し、第 1 子新生児のお宅に訪問した。

訪問は、主任児童委員 2 名あるいは主任児童委員、民生委員・児童委員各 1 名で訪問し、子育て支援に関する情報提供、地区の主任児童委員や近くの民生委員・児童委員の名前、連絡先を伝える。

訪問状況	平成 23 年度 (10 月～)	78 件	平成 26 年度	96 件
	平成 24 年度	139 件	平成 27 年度	81 件
	平成 25 年度	121 件		

(6) 「伊勢市民生委員・児童委員のあり方検討委員会」の提言に伴う対応

平成 24 年 2 月 20 日伊勢市民生委員・児童委員のあり方検討委員会からの報告による業務の範囲等について、見直し等を継続的に取り組んだ。

○協議における論点	○平成 27 年度の取り組み
1. 推薦のあり方 2. 活動費及び報酬 3. 任期の問題 4. 個人情報の取扱い 5. 民生委員制度の周知 6. 自治会との関係 7. 業務の範囲 8. 研修のあり方 9. 行政の姿勢 (認識)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動費の検討 (予算措置)</li> <li>・民生委員制度の具体的な周知</li> <li>・業務の範囲の検証、行政などが民生委員に依頼する調査・証明業務の見直し</li> <li>・根本的な制度改革に向けて国・県市長会等への要望</li> </ul>

3 地域福祉計画推進事業

伊勢市地域福祉計画・地域福祉活動計画は、「伊勢市と皇學館大学との連携に関する協定書 (平成 20 年 7 月 11 日)」に基づき、第 1 期、第 2 期計画を策定した。

第 2 期計画では、計画策定後は地域懇談会、住民アンケートなどを随時実施し、期間中、計画が市民にどう浸透したか、新たな課題が発生していないかなど検証するとともに、市民の地域福祉に対する意識の変化について進行管理を行う (計画「第 5 章 計画の推進に向けて」「1. 計画の進め方について」) こととした。

平成 27 年度においては、協定書、策定経過等をもとに、次のとおり地域懇談会を皇學館大学・市・社会福祉協議会とが連携し、計画の周知・啓発を実施した。

【地域懇談会の開催】

日時	実施団体	会場	参加者
27. 6. 16 (火) 19:00~20:30	中島地区自治会長会議 中島地区まちづくり協議会 宮川地区民生委員児童委員協議会 (中島地区のみ)	京町公民館	25 人
27. 6. 19 (水) 19:00~21:00	五十鈴地区民生委員児童委員協議会	四郷地区コミュニティセンター	26



27. 7. 1 (水) 19:00~19:40	辻久留町自治会	辻久留防災倉庫兼集 会所	25人
27. 7. 15 (水) 19:00~20:00	浜郷地区連絡協議会 港地区民生委員児童委員協 議会 (浜郷地区のみ)	浜郷地区コミュニテ ィセンター	22
27. 8. 7 (木) 19:00~20:30	倉田山地区民生委員児童委員 協議会	市役所東庁舎 4-2	28
27. 8. 10 (月) 18:15~20:15	御菌地区民生委員児童委員協 議会	御菌総合支所	13
27. 9. 3 (木) 19:00~20:30	小俣地区民生委員児童委員協 議会	小俣町農村環境改善 センター	29
27. 9. 11 (金) 19:00~20:40	城田地区連絡協議会 城田地区民生委員児童委員協 議会	城田地区コミュニテ ィセンター	23
27. 10. 30 (金) 18:30~20:00	南部地区民生委員児童委員協 議会	市役所東庁舎 4-2	15
28. 1. 27 (水) 19:00~20:40	厚生まちづくりの会	一之木ふれあいセン ター	15
28. 3. 23 (水) 19:00~20:30	小俣まちづくり協議会	小俣老人福祉会館	8
計	—	11会場	229

#### 4 伊勢市社会福祉大会の開催

伊勢市、伊勢市社会福祉協議会、伊勢市共同募金委員会共催で第11回伊勢市社会福祉大会を開催した。市内の福祉関係者が一堂に会し、福祉功労者を顕彰し、併せて地域福祉の啓発のため、福祉講演会を行った。

- ・日 時 平成28年1月30日(土)
- ・会 場 伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール
- ・参加者 民生委員・児童委員、ボランティア団体ほか社会福祉関係者 約300人
- ・内 容 第1部 13:30~14:30 顕彰

市長感謝状 団体3、個人13人

社会福祉協議会会長表彰 団体5、個人42人

共同募金委員会支会長表彰 団体9

第2部 14:30~16:00 福祉講演会

演題 『地域の絆で「無縁」を包む』

～サイレント・プア そこから見えてきたもの～

講師 勝部 麗子 氏

(社会福祉法人大阪府豊中市社会福祉協議会 地域福祉課長  
コミュニティソーシャルワーカー)

#### 5 更生保護活動

(1) 伊勢保護司会

○配置状況

定数	27. 4. 1 在職人員	27. 4. 1～28. 3. 31の異動		28. 3. 31 在職人員
		新任	退任	
43人	35人	1人	0人	36人

○活動状況

ア 罪を犯した人たちの更生を援助するとともに、犯罪予防の啓発に努め、地域社会から犯罪の根絶を図った。

イ 保護司としての使命の自覚、人格識見の向上並びに職務遂行上必要な知識及び技術の修得のため、津保護観察所の指導を得て年4回の定期研修会を、更に自主的な事業として研修視察及び自主研修を行った。

(定期研修)

27. 6. 11	第1期統一研修会 講師：津保護観察所統括保護観察官 長崎 敏也 氏 「社会貢献活動について」
27. 9. 29	第2期統一研修会 講師：同 上 「就労支援について」
27. 12. 8	第3期統一研修会 講師：同 上 「福祉との連携について」
28. 3. 3	第4期統一研修会 講師：同 上 「問題飲酒対象者の処遇について」

(その他の研修活動)

27. 10. 29	奈良県奈良少年院視察
28. 1. 13	自主研修会（体験発表会）

(2) 伊勢市更生保護女性会（平成28年3月31日現在 33名）

女性の立場から、地域における犯罪や非行未然防止の為の啓発活動や青少年の健全育成活動に参画することにより、犯罪者や非行少年の更生に協力することを目的とするボランティア団体。

(3) 伊勢更生保護協力雇用主会（平成28年3月31日現在 17社）

地区保護司会が行う協力雇用主の拡大、犯罪者の就労の支援等の事業に対する助成、犯罪予防を図るため、世論の啓発及び広報などの事業を実施。

(4) 社会を明るくする運動

6月26日から7月31日までの間、伊勢警察署、伊勢市総連合自治会等関係団体との共催で、「第65回社会を明るくする運動伊勢地区推進委員会」を構成し活動した。

また、期間中伊勢市総連合自治会の協力を得て「愛の資金」募金を実施し、以下のとおり活用した。

(啓発活動)

27. 6. 26	高柳夜店で街頭啓発 (8人)
27. 7. 1	宇治山田駅で街頭啓発 (25人)
27. 7. 6	中学生非行防止啓発 市内の全中学生・教職員に非行防止啓発物資を配布 (配付数 4,032人)
27. 7. 7	世義寺周辺で街頭啓発 (15人)
27. 7. 1～27. 9. 15	社会を明るくする運動作文コンテスト
27. 7. 1～27. 7. 31	路線バスへのバスマスク広告 (延 10台)
27. 7. 1～27. 7. 10	市役所ロビーにおける社明運動パネル展示

(「愛の資金」募金の状況)

目標額	3,000,000円
実績額	2,855,550円
活動内容	街頭啓発用物資、事務用品、中学生への啓発物資、保護司会、更生保護女性会への活動助成、総連合自治会が実施する防犯活動への助成

## ○ 遺家族等援護事業

### 1 弔慰金等受付事務

○戦没者等の妻に対する第27回特別給付金 受付 4件 (県へ進達)

○戦没者等の遺族に対する第10回特別弔慰金 受付 1,550件 (県へ進達)

・請求期間 法施行日から3年間 (平成27年4月1日～平成30年4月2日)

・基準日 平成27年4月1日

・基本的な支給要件

①基準日において、戦没者等の死亡に関し年金給付の受給権者 (恩給法による公務扶助料・特例扶助料、援護法による遺族年金・遺族給付金の受給権を有する遺族) がないこと

②特別弔慰金の対象となる戦没者等とは、軍人軍属としての在職期間中、又は準軍属としての公務上の傷病、又は勤務に関連した傷病が原因で死亡した者

・国債の額面 25万円 (5年償還の記名国債)

・市内の特別弔慰金申請対象者 約2,100人

・受付会場 市役所本館4階会議室 8月3日～8月11日・9月1日～10月30日

総合支所・支所 8月12日～8月31日

福祉総務課 随時

### 2 伊勢市戦争犠牲者追悼式

戦争犠牲者を追悼し、恒久平和を祈念することを目的に、平成27年度伊勢市戦争犠牲者追悼式を開催した。

平成 27 年度は、戦後 70 年の節目の年であり、三重県追悼式における若者の参列などを参考に、市内中学生が平和に対するメッセージを読み上げた。

- ・開催日 平成 27 年 11 月 12 日（木）10：00～
- ・開催場所 伊勢市生涯学習センターいせトピア 多目的ホール
- ・参列者 戦没者、戦災死没者及び引揚げ物故者の遺族 261 人  
来賓及び役員 44 人  
市内中学生 2 人

## ○ 福祉施設管理関係

地域福祉の活動拠点となる福祉施設の管理を行い、心身障害者、老人、児童等の福祉の向上と市民の健康増進を図った。平成 18 年 9 月 1 日から福祉健康センター、みなとデイサービスセンター、二見デイサービスセンターに指定管理者制度を導入、新たに平成 23 年 4 月 1 日からハートプラザみそのにも同制度を導入してサービスの向上を図っている。

### （1）福祉健康センター

ア 所在地 伊勢市八日市場町 13 番 1 号

イ 施設の内容

身体障害者福祉センター

老人福祉センター

中央児童センター

障がい者就労支援施設 伊勢市ひまわり

会議室（1・2は老人デイサービス、3・4・5は会議、研修等）

中央保健センター

休日・夜間応急診療所（内科・小児科・歯科）

ウ 指定管理者及び指定管理料（建物管理分）

- ・指定管理者 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会
- ・平成 27 年度指定管理料 29,326,629 円
- ・指定期間 平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日（5 年間）

エ 利用及び使用状況

	身体障害者福祉センター	老人福祉センター	中央児童センター	会議室 (注 1)	保健センター	休日夜間 応急診療所 (注 2)	ヘルストロン	その他 (注 3)	計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
4 月	2,931	3,757	2,011	1,162	2,467	1,138	1,745	2,852	18,063
5	2,578	2,974	1,629	1,024	2,507	2,116	1,867	2,583	17,278
6	2,587	3,084	1,583	1,156	3,021	992	1,730	3,816	17,969
7	2,604	3,020	2,290	1,165	3,596	1,526	1,716	4,374	20,291
8	2,757	2,316	2,930	993	3,692	1,266	1,465	2,348	17,767

9	人 2,369	人 2,657	人 1,746	人 1,058	人 2,270	人 1,810	人 1,657	人 2,824	人 16,391
10	2,830	3,087	1,692	1,264	3,114	1,118	1,891	3,276	18,272
11	2,555	3,332	1,806	1,077	2,642	1,158	1,656	2,235	16,461
12	2,936	3,076	1,607	1,017	2,680	1,516	1,572	2,867	17,271
1	2,435	3,117	1,607	913	2,522	2,138	1,645	2,661	17,038
2	2,484	2,669	1,532	914	2,863	2,592	1,604	4,451	19,109
3	2,951	3,368	1,821	1,136	3,502	2,418	1,809	3,557	20,562
合計	32,017	36,457	22,254	12,879	34,876	19,788	20,357	37,844	216,472

(注1) デイサービス利用者を含む

(注2) 歯科診療所利用者を含む

(注3) 全館利用・視察見学・喫茶コーナー利用者等

オ 施設の整備

・工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
八日市場町 地内	歯科休日診療所空調 設備改修工事	既設空調機取替 1組 電源改修、リモコン取付 一式 天井点検口取付 1か所	円 648,000	27. 5.21	27. 6.19
〃	福祉健康センターキ ュービクル改修工事	高圧真空遮断機 1台	340,200	27. 5.25	27. 6.23
〃	福祉健康センター消 火ポンプ修繕工事	仕切弁修繕 一式 配管修繕 一式	237,600	27. 6. 1	27. 6.30
〃	(注) 福祉健康センター 1階・2階廊下照明取 替工事	既設照明取替 37台	1,410,480	27.11.20	28. 1.18
〃	福祉健康センターガ ス管改修工事	ガス管改修 一式	218,700	27.12.11	27.12.24
〃	福祉健康センター防 水改修工事	休日診療所東面庇防水改 修 一式	955,800	28. 1.15	28. 2.12
計	6件	—	3,810,780	—	—

(注) 建築住宅課施行

・備品関係

施行場所	品名	規格及び数量	金額	発注	納入
八日市場町 地内	フォールディング テーブル	クラウンスタッキング <sup>レ</sup> テーブル KS1845-NW 18台	円 291,600	27.12.17	27.12.28
〃	冷凍冷蔵庫	三菱電機 MR-R47Z-F1 1台	133,898	28. 2.12	28. 2.16
計	2件	—	425,498	—	—

(2) みなとデイサービスセンター

ア 所在地 伊勢市神社港 262 番地 1

イ 施設の内容

デイサービスセンター

在宅介護支援センター

ウ 指定管理者及び指定管理料（建物管理分）

- ・ 指定管理者 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会
- ・ 平成 27 年度指定管理料 9,781,714 円
- ・ 指定期間 平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日（5 年間）

エ 施設の整備

- ・ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
神社港内 地	(注) みなとデイサービスセンター2階空調機更新工事	空調機取替 4組	円 2,392,200	27.12.11	28. 2. 8

(注) 建築住宅課施行

(3) 二見デイサービスセンター

ア 所在地 伊勢市二見町茶屋 310 番地

イ 施設の内容

デイサービスセンター

ウ 指定管理者及び指定管理料（建物管理分）

- ・ 指定管理者 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会
- ・ 平成 27 年度指定管理料 9,096,000 円
- ・ 指定期間 平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日（5 年間）

エ 施設の整備

- ・ 備品関係

施行場所	品名及び数量	金額	発注	納入
二見町茶屋 地内	業務用食器洗浄機 1台	円 490,320	27.10.29	27.11.11

(4) ハートプラザみその

ア 所在地 伊勢市御菌町長屋 2767 番地

イ 施設の内容

御菌老人福祉センター

御菌保健センター

御菌こども広場

御菌デイサービスセンター

御菌多目的ホール

ウ 指定管理者及び指定管理料

- ・ 指定管理者 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会
- ・ 平成 27 年度指定管理料 35,602,971 円
- ・ 指定期間 平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日（5 年間）

エ 利用及び使用状況

	多目的 ホール	教 養 娯楽室	保 健 会議室	栄 養 指導室	生活 相談室	機 能 回復 訓練室	図書室	こども 広 場	視察・ 見学等	計
4月	人 2,133	人 172	人 284	人 51	人 75	人 1,091	人 188	人 1,222	人 0	人 5,216
5	1,865	111	365	188	93	982	205	898	0	4,707
6	2,805	182	616	126	90	1,171	143	954	219	6,306
7	2,782	279	395	216	143	1,227	214	1,472	0	6,728
8	3,966	254	510	86	78	1,297	313	1,621	1,337	9,462
9	1,966	186	505	148	73	1,179	213	1,042	0	5,312
10	1,731	219	355	190	115	1,395	205	1,119	230	5,559
11	3,223	251	633	154	130	1,166	178	1,065	0	6,800
12	1,610	199	382	147	98	1,033	185	1,095	0	4,749
1	1,867	147	259	144	123	1,102	217	1,003	0	4,862
2	2,181	227	578	177	111	1,236	266	907	0	5,683
3	2,311	185	443	241	146	1,237	294	1,109	400	6,366
合計	28,440	2,412	5,325	1,868	1,275	14,116	2,621	13,507	2,186	71,750

オ 施設の整備

・工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
御 菌 町 長 屋 地 内	ハートプラザみ その福祉棟栄養 調理室エアコン 修理工事	エアコン修理 一式	円 147,960	27. 5. 1	27. 5. 26
〃	(注1) ハートプラザみ その雨漏り修繕 工事	雨漏り修繕(シーリング打 替・透明塗膜塗) 一式 (福祉センター棟・デ イサービスセンター 棟・多目的ホール棟)	5,906,520	27. 7. 10	27. 9. 7
〃	ハートプラザみ その床補修工事	既設タイルカーペット 取外及び再敷設 25 m <sup>2</sup>	237,600	27. 7. 16	27. 9. 4
〃	ハートプラザみ その東側乗入口 舗装修繕工事	舗装工 4 m <sup>2</sup>	137,160	27. 8. 10	27. 8. 19
〃	ハートプラザみ その加圧給水ポ ンプ修理工事	制御盤交換 一式	363,960	27. 9. 10	28. 3. 20
〃	(注2) ハートプラザみ その陥没箇所充 填工事	舗装工 20 m <sup>2</sup>	226,800	27. 10. 9	27. 10. 23

御 菌 町 長 屋 地 内	(注1) ハートプラザみ その管理棟空調 機更新工事	1. ビルマルチ空調機器 取替 5組 2. パッケージエアコン 取替 1組 3. 同上用配管類工事 一式 4. 電源改修・集中リモコ ン取付 一式 5. 既設機器類撤去廃材 処分 一式	円 15,109,200	27.10.23	27.12.16
〃	ハートプラザみ その車庫外壁修 繕工事	サイディング交換 一式	97,200	27.10.29	27.11.27
〃	御菌デイサービ スセンター浴槽 ろ過装置修繕 工事	ろ過タンク（屋外設置） 取替 1台 塩素注入装置（屋外設 置）取替 1セット 昇温用給油循環ポンプ （屋外設置）取替 1台	1,080,000	27.11.11	28. 1. 9
〃	ハートプラザみ その防水修繕工 事	防水修繕（屋上外周、児 童遊戯室屋上、外部タイ ル）一式	270,000	28. 1.25	28. 3.15
〃	(注3) ハートプラザみ その駐車場区画 線塗替工事	区画線工 1320.5m	648,000	28. 2. 1	28. 3.23
計	11件	—	24,224,400	—	—

(注1) 建築住宅課施行

(注2) 維持課施行

(注3) 農林水産課施行

・備品関係

施行場所	品名	規格及び数量	金額	発注	納入
御 菌 町 長 屋 地 内	ワイヤレス マイクシス テム	ユニパックステジタルキャリングアンプ 1台 ユニパックワイヤレスチューナーユニット 2台 ユニパックワイヤレスアンテナ 2台 ユニパックワイヤレスマイク 2台	円 332,640	27.11.12	27.12. 2

(5) 小俣保健センター

ア 所在地 伊勢市小俣町元町536番地

イ 利用状況

	利用者数
保健センター分	3,437人
子育て支援分	17,734
関連団体	1,811
計	22,982



ウ 直営方式

(6) 介護予防拠点施設 なごみのやかた

ア 所在地 伊勢市御薗町高向 2522 番地

イ 利用状況 3,994 人

ウ 直営方式

## ○ 臨時福祉給付金支給事業

平成 26 年 4 月の消費税率引上げによる影響を緩和するため、所得が低い方々に対して、制度的な対応を行うまでの間の、暫定的・臨時的な措置として実施するもの。

1 支給の条件

(1) 基準日 平成 27 年 1 月 1 日

(2) 対象 平成 27 年度分の住民税が課税されない方

(住民税において課税者の扶養となっている場合、生活保護受給者である場合を除く)

(3) 内容 対象者 1 人につき 6,000 円を支給

2 給付実績 122,844,000 円

3 支給の状況

給付対象者人数	支給人数	支給率 支給人数 ／給付対象者
25,372 人	20,474 人	80.7%

4 周知方法

- ・個別勸奨通知送付 2 回
- ・市民交流課を通じて外国人に制度案内配布 1 回
- ・広報いせ掲載 4 回
- ・新聞折込チラシ 3 回
- ・市内老人施設等への制度周知依頼 1 回
- ・ホームページ掲載 受付期間中
- ・ケーブルテレビ 14 日間
- ・ケーブルテレビ CM 7 日間×2 回

5 受付期間

平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 2 月 1 日

6 受付会場

本庁（9 月 1 日～10 月 30 日は本館 4－5 会議室、11 月 1 日～2 月 1 日は市民ホール）  
各総合支所生活福祉課・各支所

## ○ 社会福祉法人関係

社会福祉法第30条の規定により、当市が所轄となる社会福祉法人に対し、次の事務を行った。

所轄法人数 23法人（老人福祉施設 6、障害福祉施設 2、保育所13、その他 2）

※伊勢市が所轄庁となる社会福祉法人の一覧表は、資料のとおり。

### 1 許認可事務 8件

・法人新設	0件
・法人合併	0件
・法人解散	0件
・定款変更認可	5件
・定款変更届受理	0件
・基本財産の処分承認	2件
・基本財産の担保提供承認	0件
・不動産使用証明	1件
・財産移転完了届	0件

### 2 報告書の受領 46件

・現況報告書の受領	23件
・監事監査報告書の受領	23件

### 3 社会福祉法第 56 条に基づく指導監査について、三重県が実施する社会福祉法第 70 条に基づく監査（施設運営に係る監査等）と合同で、法人本部の施設にて行った。

・社会福祉法第 56 条に基づく指導監査 14 件（うち、市単独指導監査 1 件、確認監査 1 件）

監 査 実 施 日		指 導 監 査 数	施 設 内 訳
7 月	2 日、27 日、28 日	3	保育所 2 件 老人福祉施設 1 件
8 月	6 日、19 日、25 日	3	保育所 3 件
9 月	8 日、15 日	2	保育所 2 件
10 月	7 日、13 日、28 日	2	老人福祉施設 2 件
11 月	10 日	1	老人福祉施設 1 件
12 月	17 日	1	社会福祉協議会 1 件
1 月	22 日	1	保育所 1 件
2 月	1 日（確認監査）	1	障害福祉施設 1 件 （確認監査）
合 計		14	保育所 8 件 老人福祉施設 4 件 障害福祉施設 1 件 社会福祉協議会 1 件

（注）9月8日、10月13日は社会福祉法人瑞穂福祉会（保育所）の指導監査を2日間にわけて行ったもので、件数としては1件としてカウント。

資料 伊勢市が所轄庁となる社会福祉法人

	施設名称	施設名称	施設種別
1	有滝福祉会	有滝保育園	保育所
2	一字郷福祉会	みどり保育園	
3	一色福祉会	一色保育園	
4	大湊福祉会	大湊保育園	
5	こころ	なかよし保育所	
6	佐八福祉会	佐八保育園	
7	徳風会	村松保育園	
8	豊浜西福祉会	豊浜西保育所	
9	南勢福祉会	中須保育園	
10	東大淀福祉会	東大淀保育園	
11	瑞穂福祉会	船江保育園	
12	宮山	あけの保育園、みややま保育園	
13	山際福祉会	たけのこ保育園	
14	五十鈴会	いすず苑、いすずガーデン	
15	伊勢医心会	神路園、万亀会館	
16	賀集会	ケアハウス賀集楽	
17	慈恵会	正邦苑、正邦苑城田、正邦苑静乾、正邦苑豊浜、正邦苑中須	
18	福德会	白百合園、上野の郷	
19	邦栄会	双寿園、楽寿苑、雅之園	障害福祉施設
20	伊勢ふるさと会	工房ぼちぼち倶楽部	
21	まほろばの里	しいの木園、上野作業所	母子生活支援施設 児童養護施設
22	明照浄済会	サラナ 精華学院	
23	伊勢市社会福祉協議会		社会福祉協議会

## ○ 社会福祉協議会関係

社会福祉協議会は、「地域福祉の推進」を目的として設置（社会福祉法第109条）されている。地域住民、社会福祉の関係者などの参加・協力を得て組織され活動することを特徴とし、民間組織としての自主性と、広く住民や社会福祉関係者に支えられた公共性の2つの側面をあわせもった民間非営利組織である。

行政とは車の両輪のように連携を密にしながら、住民主体の理念に基づき、地域が抱えている様々な福祉問題を地域全体の問題として捉え、地域と一緒に考え、話し合い、協力して解決を図ることにより、地域福祉の理念である「支え合い・助け合い」によるまちづくりを推進している。

また、地域福祉の推進にあたっては、ボランティアセンターを中心に、各地域で活動する人材、団体などの担い手づくりを進めている。

### 1 福祉ボランティア育成事業

ボランティアの活動拠点として、市と協働で伊勢市ボランティアセンターを設置し、各種講座やボランティア体験、活動（団体）紹介、活動助成、福祉協力校への活動支援、情報発信を積極的に行っている。

平成 26 年 6 月には、ボランティアセンターをリニューアルし、また、順次ボランティアコーディネーターを増員しながら活動の活性化を図っている。

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
(1) 登録状況	・団体 114 団体 (2,823 人) ・個人 67 人	・団体 122 団体 (3,189 人) ・個人 35 人	・団体 125 団体 (3,209 人) ・個人 38 人	・団体 136 団体 (3,565 人) ・個人 71 人
(2) 活動に対する助成	・団体等 24 団体 ・福祉協力校 39 校	・団体等 25 団体 ・福祉協力校 42 校	・団体等 25 団体 ・福祉協力校 42 校	・団体等 24 団体 ・福祉協力校 42 校
(3) 事業の概要	・養成講座、研修会等 ・福祉協力校での体験講座等 32 回 参加 1,226 人	・養成講座、研修会等 ・福祉協力校での体験講座等 25 回 参加 774 人	・養成講座、研修会等 ・福祉協力校での体験講座等 34 回 参加 1,103 人	・養成講座、研修会等 ・福祉協力校での体験講座等 43 回 参加 1,217 人

## 2 日常生活自立支援事業

日常生活において判断能力に不安のある認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者の方に対し、日常的な金銭管理、各種サービスの利用手続きの代行等を行う。

ただし、利用者本人の意思が確認できること、契約行為が理解できることとし、原則、家族の方や代理の方と契約することはできない。また、福祉サービス利用援助が主体であること。日常的な金銭管理のみまたは書類預かりサービスのみの利用はできない。

### (1) 内容

- ・福祉サービス利用時の契約手続きの援助、福祉サービス利用料金の支払いの代行
- ・社会保険料、電気・ガス・水道料金など公共料金、医療費等の支払い手続きの援助
- ・預貯金通帳、年金証書、保険証書、不動産権利証、契約証、実印、銀行印、カードなど書類等の保管

### (2) 体制

伊勢市・玉城町・大紀町・度会町を管轄とする「伊勢日常生活自立支援センター」を設置し、専門員及び生活支援員を配置

### (3) 利用方法

- ①本人、家族をはじめとする身内の方、民生委員等からの相談を受付
- ②センターの専門員が自宅等を訪問し、詳細を聞き取り、本人の暮らしに合わせた支援計画書作成
- ③支援計画に基づいて契約を締結
- ④利用開始
- ⑤利用開始 3 か月後に支援計画を見直し、6 か月ごとに本人に合ったものか評価

(4) 利用料金

○「福祉サービス利用、日常的金銭管理サービス」 1回につき 1,000 円（1 時間程度）

※生活保護受給者 … 全額を三重県社協が負担のため免除

※市町村民税非課税者 … 三重県社協・伊勢市が 500 円ずつを負担（減免）

ただし、市町によっては負担しない場合もある

○「書類等の預かりサービス」 年間 3,000 円（1 か月 250 円）

(5) 利用者数（平成 28 年 3 月 31 日現在）

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
伊勢市	79 人	80 人	98 人	120 人
玉城町	5	5	9	10
大紀町	13	21	19	25
度会町	—	—	2	3
計	97	106	128	158

※年度途中の利用解約者は含まない。

上記のうち、伊勢市の利用者数（平成 28 年 3 月 31 日現在）

	利用者数	うち非課税世帯	うち生活保護世帯	うち課税世帯
平成 24 年度	79 人	36 人	29 人	14 人
25	80	44	21	15
26	98	53	31	14
27	120	61	48	11

3 その他の主な地域福祉活動

(1) 小地域推進事業

○ふれあいいいききサロン事業

（内容）地域住民やボランティア、自治会等が主体となって実施する「ふれあい・いきいきサロン」へ助成を行い、明るく住み良い福祉のまちづくりを推進した。

区 分	設置数	実施回数	参加延人数
高齢者サロン	62 か所	691 回	13,155 人
子育てサロン	10	106	3,129
障がい児サロン	2	24	414

○一人暮らし高齢者会食サービス

（内容）一人暮らし高齢者を対象に、民生委員・児童委員や調理ボランティア等の協力を得て食事サービスを提供し、高齢者同士や地域住民との交流の場づくりを行った。

実施数	43 か所
実施回数	327 回
延利用人数	6,141 人

○一人暮らし高齢者乳酸菌飲料等宅配サービス事業

（内容）一人暮らし高齢者を対象に、乳酸菌飲料等宅配業者の協力を得て、配達を通じた安否確認、見守りを行った。

登録者数	70 人
延利用回数	22,621 回

○地域見守り活動事業

(内容) 一人暮らし高齢者や高齢者世帯等の見守り活動、登下校時の見守りや声かけ運動などの活動を行う団体に助成を行った。

助成団体	50 団体
助成金額	1,432,725 円

○三世代交流助成事業

(内容) 子どもから高齢者まで幅広い世代が昔の遊び等を通じて親しみ触れ合う活動を実施する団体に助成を行った。

助成団体	8 団体
助成金額	440,000 円

○宅老所助成事業

(内容) 家に閉じこもりがちになっている高齢者の社会活動への参加促進を目的に、地域で運営している宅老所 2 団体に、活動費用の一部の助成を行った。

助成団体	2 団体
助成金額	300,000 円

○福祉のまちづくり活動支援助成事業

(内容) 地域福祉の総合的推進と活動拠点の強化を図るため、地区社協、または、まちづくり協議会 15 団体に社協会費・共同募金の前年度集約実績額に応じた活動助成を行った。

(助成先) 地区社協 …… 城田地区社会福祉協議会・大湊地区社会福祉協議会  
まちづくり協議会…

小俣まちづくり協議会・佐八学区まちづくりの会・四郷地区まちづくり協議会・  
高城まちづくりの会・進修まちづくりの会・中島学区まちづくり協議会・  
二見まちづくりの会・東大湊まちづくり協議会・厚生地区まちづくりの会・  
豊浜東まちづくり協議会・豊西まちづくりの会・北浜まちづくり会議・  
沼木まちづくり協議会

(助成額) 3,513,700 円

○福祉施設・福祉団体活動助成事業

①福祉施設等活動助成

(内容) 障がい者団体や老人クラブ等に対し、社会福祉の増進を図るための活動費用の一部の助成を行った。

(助成施設数) 39 施設

(助成金額) 2,150,000 円

②福祉団体活動助成

(内容) 保育所や学童クラブ等の福祉施設が地域と協働して実施する親睦会、交流会等の事業に対し、活動費用の一部の助成を行った。

(助成団体数) 43 団体

(助成金額) 2,365,394円

○いきいきサロン事業(共同募金配分金事業)

地域住民やボランティア及び自治会等が主体となり、高齢者、子育ての当事者や乳幼児、障がい児者が地域で孤立しないよう地域で気軽に集える「ふれあい・いきいきサロン」を支援し、当事者間の交流の場と仲間づくりを推進した。

サロン名	実施数	延実施回数	延参加者数	助成金額
高齢者サロン	62か所	691回	13,155名	1,306,900円
子育てサロン	10か所	106回	3,129名	238,000円
障がい児サロン	2か所	24回	414名	41,100円
計	74か所	821回	16,698名	1,586,000円

○こども会等活動助成事業(共同募金配分金事業)

こども会や自治会等が地域で実施する親睦会や交流会等の行事に対し、活動費用の一部の助成を行った。

助成団体数	助成金額
94団体	1,729,901円

4 住民の福祉ニーズ把握機能の充実

(1) 各種相談事業

○民生委員・児童委員による心配ごと相談

実施日	毎月第1～4水曜
実施回数	48回
延相談者数	27人

○弁護士による無料法律相談

実施日	毎月第1・3木曜
実施回数	24回
延相談者数	84人

○弁護士、年金事務所職員、社協職員等による総合相談事業

社協本所及び各支所において、市民等から寄せられた相談に対して制度紹介や支援方法の助言などを行い、必要に応じて関係機関・団体等と連携して支援活動を行った。

相談方法	来所	電話	その他	計
件数	603件	1,148件	88件	1,839件

(相談者の内訳)

本人	家族	親族	民生委員	ケアマネ	関係機関	医療	行政	その他
1,256	63	6	77	14	159	6	221	37

(相談内容の内訳)

生活	介護	権利	貸付	地域福祉	募金	その他
42件	49件	139件	661件	582件	32件	334件

(対応の内訳)

相談により対応が完結	継続	相談先の紹介	訪問による実態把握	その他
1,196件	369件	75件	189件	10件

## (2) 生活困窮者対策

### ○生活困窮者対策支援緊急食糧提供事業（三重県社会福祉協議会協働事業）

三重県社協と NPO 法人セカンドハーベスト名古屋との協定に基づき、生活困窮世帯に対し緊急的に食糧を提供することにより、当該世帯の生活維持及び再建に向けた相談支援を推進するため、平成 27 年 7 月 16 日より開始した。

（支援実績）

区 分	実 績
伊勢支所	23 件
二見支所	0
小俣支所	2
御薊支所	8
計	33

### ○緊急時物品等支援事業（三重県社会福祉協議会協働事業）

生活困窮者支援緊急食糧提供事業を利用する世帯が、当面必要な消耗品等を購入する費用を助成した。（平成 27 年 7 月 16 日より開始）

区 分	実 績
伊勢支所	4 件
二見支所	0
小俣支所	1
御薊支所	0
計	5

## (3) その他

### ○生活福祉資金貸付事業

（内容）低所得者、障がい者及び高齢者世帯に対し、その経済的自立と生活意欲の助長、社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるように貸付を行った。

貸付件数	32 件
貸付額	8,018,000 円

### ○地域福祉金庫貸付事業

生活保護受給の申請をした世帯が、受給の可否が決定されるまでの間、安定した生活が送れるように貸付を行った。

貸付件数	26 件
貸付額	510,000 円

## 5 地域福祉推進のための募金運動

### (1) 共同募金運動

毎年 10 月から 12 月までの 3 か月間、自治会、各福祉団体、ボランティア等の協力を得て、三重県共同募金会伊勢市共同募金委員会が共同募金運動を実施した。

募金は、三重県共同募金会に全額を送金し、広域分と市町分（各市町社会福祉協議会）として翌年度に配分される。

平成 27 年度の伊勢市社会福祉協議会への配分は、ふれあいいいききサロン事業、一人暮らし



高齢者乳酸菌飲料等宅配サービス事業、地域見守り活動事業、三世代交流助成事業等に充てて活用した。

○赤い羽根共同募金 10月1日～12月31日 3か月間

歳末助け合い共同募金 12月1日～12月31日 1か月間

○平成26年度募金総額 19,816,460円

○平成27年度の配分 16,691,623円

○平成27年度の募金の状況

戸別募金	15,644,999円
法人募金	1,197,760
街頭募金	866,395
職域、学校募金	1,513,173
その他	302,532
募金総額	19,524,859

## (2) 社協会員の加入促進

一人ひとりが支え合い、地域間の交流を深めながら身近な福祉課題を解決するため、一緒に活動していただく方や財源的に支えていただける方を毎年募集し、賛同していただける方に社協会費を募っている。

協力していただいた会費は、一人暮らし高齢者会食サービス、民生委員・児童委員による心配ごと相談事業、弁護士による無料法律相談、総合相談事業等に充てて活用した。

(平成27年度の状況)

個人会費	6,178,210円
団体会費	897,500
協賛会費	3,000
会費総額	7,078,710

## (3) 日本赤十字社事業

日本赤十字社の活動は、広く一般の方から寄せられる寄付金のほか、災害救護、防災・減災への取り組み、国際救援や講習事業の普及などの活動に対し、支援する社員（会員）によって支えられている。個人・法人を問わず、社員（会員）になることができ、日本赤十字社三重県支部伊勢市地区として、毎年5月に募金を募集している。

昨年度は、救急法（AED）、災害時の高齢者支援等の各種講習会講師、イベント等での救護要員派遣などが市内自治会・学校等から要請があり、三重県支部から73回派遣を受けた。

また、市内で発生した15件の災害に対して、日用品セット、毛布、タオルケット等を災害罹災者へ支給し、支援を行った。

戸別募金	13,720,836円
法人等募金	0
募金箱等	493
募金総額	13,721,329

# こ ども 課

## ○児童福祉関係

### 1 児童福祉施設の状況

#### (1) 保育所

保護者が労働に従事し、又は疾病等のため家庭保育に欠ける児童を、家庭状況調査の上、入所決定し、健全育成を図った。

ア 保育所の入所状況（認定こども園については「(2)認定こども園」に別掲）

#### (ア) 公立保育所

区分 施設名	入 所 の 状 況							
	定員	年 齢 別 入 所 人 員 (3 月 31 日 現 在)						
		0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
明 倫	人 90	人 6	人 10	人 17	人 18	人 14	人 21	人 86
浜 郷	120	3	12	16	23	17	19	90
大 世 古	150	3	18	21	32	20	29	123
き ら ら	75	7	8	13	17	11	19	75
二 見 浦	200	5	14	15	32	26	26	118
五 峰	100	3	12	18	19	27	21	100
高 城	60	5	6	3	9	4	9	36
あけぼの	125	3	18	24	26	23	19	113
しらとり	60	—	—	12	14	20	19	65
ゆりかご	150	5	23	22	36	31	33	150
御菌第一	180	9	11	30	36	43	44	173
御菌第二	150	0	12	12	21	16	17	78
計	1,460	49	144	203	283	252	276	1,207

#### (イ) 私立保育所

区分 施設名	入 所 の 状 況							
	定員	入 所 人 員 (3 月 31 日 現 在)						
		0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
大 湊	人 60	人 7	人 8	人 14	人 5	人 11	人 9	人 54

一色	人 120	人 6	人 11	人 19	人 40	人 22	人 30	人 128
村松	45	4	10	4	13	14	9	54
船江	90	10	15	18	17	19	20	99
たけのこ	100	12	18	24	22	22	22	120
マリア	120	15	24	22	16	22	20	119
東大淀	60	6	8	7	11	7	11	50
豊浜西	120	10	28	28	26	33	24	149
みどり	40	2	3	7	12	10	4	38
有滝	40	8	4	4	7	2	11	36
中須	100	7	8	14	18	28	28	103
佐八	60	5	6	12	13	15	17	68
みややま	90	3	13	18	18	23	21	96
なかよし	45	8	8	8	9	10	9	52
えがお	60	3	9	12	11	12	14	61
あけの	90	10	13	18	20	21	27	109
計	1,240	116	186	229	258	271	276	1,336

施設型給付費(保育所) 1,300,485,010円

#### イ 特別保育事業

仕事等の社会的活動と子育て等の家庭生活との両立を支援し、安心して子育てができる環境を整備するため、各種の特別保育事業を実施した。

##### (ア) 保育所地域活動事業

保育所等において、地域住民が主体的に子育てに関われるようにし、多世代の交流を促進した。

##### (イ) 障害児保育事業

保育所での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童について、保育所に受入れをして健常な児童とともに保育することにより健全育成を図った。

区分	重度	中度	計	保 育 所 ( 園 )
公立	人 20	人 28	人 48	明倫、浜郷、大世古、きらら、二見浦、五峰、あけぼの、しらとり、ゆりかご、御菌第一、御菌第二、しごう
私立	2	10	12	一色、村松、船江、有滝、中須、修道、暁の星
計	22	38	60	19か所

(ウ) 休日保育事業

日曜日、祝日等の保護者の就労等により、家庭で児童の保育が困難な場合に、保護者の子育てと仕事の両立を支援するため、休日保育を行った。

実施保育所 保育所きらら館 延べ 176 人  
なかよし保育所 延べ 73 人

(エ) 一時保育事業

保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のために、保育所に入所していない児童の一時的な保育を行った。

実施施設	利用区分	延べ利用児童数
保育所きらら館	1日	917人
	半日	335
小俣子育て支援センター	1日	397
	半日	240
しごうこども園	1日	569
	半日	149
修道こども園	1日	74
	半日	10
計	1日	1,957
	半日	734

(オ) 延長保育促進事業

早朝から保育所を開所し、11時間を超えた延長保育を行い、保護者の子育てと仕事の両立を支援した。

実施保育所	開所時間	延べ利用児童数
大世古保育所	午前7時15分～午後7時15分	136人
保育所きらら館	午前7時00分～午後7時00分	88
船江保育園	午前7時00分～午後7時00分	32
たけのこ保育園	午前7時00分～午後7時00分	227
豊浜西保育所	午前7時30分～午後7時00分	12
みややま保育園	午前7時00分～午後7時00分	74
なかよし保育所	午前7時00分～午後9時00分	86
えがお保育園	午前7時00分～午後7時00分	29
あけの保育園	午前7時00分～午後7時00分	22
計	—	706

(カ) その他の保育事業

・低年齢児保育充実事業

延長保育、休日保育、一時保育等特別保育事業を実施し、定員もしくは入所児童数のいずれか多い方の1割以上の0・1歳児が入所する保育所に対して、0・1歳児保育の推進を図り待機児童の発生を防ぐため、基準を超えて配置する保育士に必要な経費を補助した。

実施保育所等 私立 8か所 0・1歳児 延べ 2,037人

・アレルギー等対応特別給食提供事業

食物アレルギー等があり保育所等における給食に特別な配慮が必要な児童への安全な給食提供を行うため、私立保育所等における調理員の配置にかかる人件費、代替食材費及びアレルギー対策に関する研修費等の経費を補助した。

実施保育所等 私立 14か所

・一般保育事業

私立保育所等と公立保育所等の給与の格差等是正のため、補助金を交付し、私立保育所等運営の円滑化を図った。

ウ 保育所施設の整備

(ア) 公立保育所施設の機能の維持及び向上を図るため、次のとおり工事を行った。

工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
小 俣 町 明 野 地 内	あけぼの園廊下天窓修繕工事	天窓 ガラス交換及びシーリング打替 一式	円 419,580	27. 5.11	27. 5.27
大世古 4 丁目 地 内	大世古保育所保育室空調機取替工事	既設空調機器取替 2組 同上配管類工事 一式 電源改修・リモコン取付 一式	1,188,000	27. 5.11	27. 6. 9
小 俣 町 明 野 地 内	あけぼの園砂場改修工事	ユニット砂場設置 1か所	851,040	27. 6.15	27. 7.14
二見町山田原 地 内	五峰保育園テラス床面改修工事	テラス平面部塗装 138㎡ 立ち上がり部塗装 77.0m	540,000	27. 6.22	27. 7.22
御 菌 町 長 屋 地 内	(注1) 御菌第一保育園砂場改修工事	ユニット砂場設置 2か所	1,998,000	27. 7. 3	27. 8.12
〃	御菌第一保育園幼児用便器取替工事	幼児用便器取替 2か所	648,000	27. 7.28	27. 9.10

黒地 瀬町内	浜郷保育所雨樋取付及び防水改修工事	2階南面ベランダ雨樋取付及び北面縦樋取替一式 屋上防水改修一式	円 950,400	27. 8. 13	27. 9. 25
小俣町湯田地	しらとり園門扉等改修工事	門扉取替工事一式	139,730	27. 8. 17	27. 9. 15
御菌町長屋地	御菌第一保育園給食室修繕工事	給食室床塗装改修 102㎡ 収納棚改修 2か所	1,026,000	27. 9. 1	27. 9. 30
小俣町本町地	ゆりかご園給食搬入口ほか鉄骨部塗装改修工事	鉄骨部塗装改修工事 3か所	604,800	27. 10. 14	27. 11. 27
大世古4丁目地内ほか	(注2) 大世古保育所ほかガス管入替工事	ガス管入替工一式	1,206,360	27. 10. 16	27. 12. 14
黒地 瀬町内	浜郷保育所門扉取替工事	門扉取替工事一式	1,101,600	27. 10. 28	27. 11. 26
御菌町高向地	御菌第二保育園テラス床面改修工事	テラス平面部及び立ち上がり部塗装 109㎡	518,400	27. 11. 10	27. 12. 25
二見町荘内地	二見浦保育園給食室エレベーター修理工事	メインロープ、メインシーブ取替一式 制御盤内インバータ取替一式	493,560	27. 12. 24	28. 2. 1
小俣町本町地	ゆりかご園園舎擁壁補修工事	擁壁補修一式	518,400	28. 1. 19	28. 3. 8
黒地 瀬町内	浜郷保育所物置設置工事	既設物置撤去一式 プレハブ物置設置一式	680,400	28. 1. 22	28. 3. 4
計	16件	—	12,884,270	—	—

(注1) 都市計画課施行 (注2) 上水道課施行

(イ) 私立保育所施設の機能の維持及び向上を図るため、次のとおり補助金を交付した。

・船江保育園改築等工事 134,573,650円(平成26年度繰越事業)

(2) 認定こども園

保護者の就労の有無にかかわらず就学前の児童を受け入れて、教育・保育を一体的に行う機能を備える認定こども園において児童の健全育成を図った。

ア 認定こども園の入園状況

(ア) 公立認定こども園

施設名	利用定員	入園人員(3月31日現在)							
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	
しごうこども園	2・3号	人 95	人 3	人 12	人 18	人 23	人 21	人 18	人 95
	1号	30	—	—	—	—	0	6	6
	計	125	3	12	18	23	21	24	101

## (イ) 私立認定こども園

施設名		利用 定員	入 園 人 員 (3月31日現在)						
			0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
修道こども園	2・3号	人 100	人 7	人 12	人 26	人 20	人 26	人 30	人 121
	1号	60	—	—	—	24	16	16	56
	計	160	7	12	26	44	42	46	177
暁の星こども園	2・3号	147	5	20	29	37	34	21	146
	1号	102	—	—	7	20	17	21	65
	計	249	5	20	36	57	51	42	211
和順こども園	2・3号	30	—	3	9	8	9	2	31
	1号	105	—	—	11	35	21	33	100
	計	135	—	3	20	43	30	35	131

施設型給付費(認定こども園) 314,239,310円

## (3) 子育て支援センター

地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、児童の健やかな育ちを促進することを目的として、市内5か所で子育て支援センターを開設し、子育て家庭の交流の場の提供、子育てに関する講座の開催、育児不安についての相談指導、子育てサークル等への支援等を実施した。

## 子育て支援センターきらら館

- ・利用者数 延べ19,368人
- ・子育て講座 76回 延べ2,333人
- ・子育て相談 112件
- ・サークル支援 1団体
- ・機関紙発行 12回
- ・夏まつり等行事 28回 813人

## 小俣子育て支援センター

- ・利用者数 延べ17,867人
- ・子育て講座 57回 延べ2,089人
- ・子育て相談 131件
- ・機関紙発行 12回
- ・遠足等行事 6回 延べ461人

## 明倫保育所

- ・利用者数 延べ1,957人
- ・子育て講座 69回 延べ923人
- ・子育て相談 23件
- ・機関紙発行 12回
- ・夏まつり等行事 8回 121人

## 二見浦保育園

- ・利用者数 延べ2,852人

- ・子育て講座 47回 延べ883人
- ・子育て相談 9件
- ・機関紙発行 12回
- ・夏まつり等行事 13回 453人

しごうこども園

- ・利用者数 延べ3,066人
- ・子育て講座 64回 延べ1,233人
- ・子育て相談 86件
- ・機関紙発行 12回
- ・クリスマス会等行事 4回 130人

(4) 児童館・児童センター等

児童館・センター等を利用する児童に、遊びと運動等の必要な指導を行い、児童の健全育成に努めた。

児童館・児童センターの利用状況

施設名	区分 開館 日数	児童の利用数				その他の 利用者	総入館 者数
		幼児	小学生	中学生	計		
あさま児童センター	日 294	人 2,224	人 3,642	人 83	人 5,949	人 1,930	人 7,879
黒瀬児童センター	294	138	3,111	97	3,346	211	3,557
中央児童センター	303	4,868	9,717	1,391	15,976	6,169	22,145
小俣児童館	296	362	2,749	107	3,218	1,613	4,831
明野児童館	296	702	3,296	26	4,024	1,382	5,406
御菌こども広場	340	3,626	6,388	323	10,337	3,170	13,507
明照児童館（民間）	339	672	13,400	537	14,609	2,135	16,744
計	—	12,592	42,303	2,564	57,459	16,610	74,069

2 放課後児童対策事業

(1) 伊勢市放課後児童クラブ事業

昼間、保護者のいない家庭の小学校の児童に対して、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図った。

児童クラブ名	所在地	児童数(注)	開設日数
二見放課後児童クラブ	二見町茶屋 63 番地 4 二見こども未来クラブ内	人 37	日 292
二見放課後児童クラブ第 2	二見町茶屋 348 番地 二見老人福祉センター内	60	292
小俣放課後児童クラブ	小俣町元町 662 番地 1 小俣児童館内	64	292



明野放課後児童クラブ	小俣町新村 399 番地 3 明野児童館内	70 人	292 日
小俣放課後児童クラブ第 2	小俣町本町 3 番地 小俣農村環境改善センター内	22	292
御菌放課後児童クラブ	御菌町長屋 2794 番地 1 御菌こどもプラザ内	61	294
御菌放課後児童クラブ第 2	御菌町長屋 2767 番地 ハートプラザみその内	18	294
計	—	332	—

(注) 児童数は毎月初日における登録児童数の平均

## (2) 放課後児童クラブ運営委託

昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年児童等について、放課後児童の育成指導等、遊びを主とする健全育成活動を行うため、放課後児童クラブの運営委託を実施した。

児童クラブ名	所在地	児童数(注)	開設日数
杉の子学童クラブ	久世戸町 5 番地	45 人	272 日
すみれ学童クラブ第 1	常磐 3 丁目 10 番 44 号	29	293
明照こどもクラブ楓	吹上 2 丁目 5 番 41 号	45	292
明照こどもクラブ樸	吹上 2 丁目 7 番 10 号	33	292
ひまわり学童クラブ	旭町 349 番地	40	290
はまっこ学童クラブ	神社港 262 番地 1	17	256
とよはま学童クラブ	西豊浜町 1760 番地	26	256
藍ちゃんの家ふぁみりーくらぶ 厚生学童部	宮後 1 丁目 10 番 21 号	34	292
藍ちゃんの家ふぁみりーくらぶ 城田学童部	上地町 1770 番地	23	292
藍ちゃんの家ふぁみりーくらぶ 浜郷学童部	黒瀬町 1736 番地 2	40	292
学童クラブレインボーキッズ	上野町 2908 番地	17	292
児童クラブ銀の Spoon	河崎 1 丁目 14 番 21 号	29	250
放課後児童クラブ リンドバーグ佐八	佐八町 2060 番地	25	289
放課後児童クラブ リンドバーグ四郷	楠部町 2484 番地	38	290

放課後児童クラブ リンドバーグ大湊	大湊町 1074 番地 1	12 人	291 日
あけの学童クラブ	小俣町新村 558 番地 21	37	294
きたはま学童クラブ	村松町 3280 番地 6	19	287
あけの学童クラブ第 2	小俣町新村 558 番地 31	27	294
すみれ学童クラブ第 2	常磐 3 丁目 10 番 44 号	35	293
計		571	—

(注) 児童数は毎月初日における登録児童数の平均

### (3) 放課後児童クラブ施設の整備

児童館施設内で運営している放課後児童クラブの機能の維持及び向上を図るため、次のとおり工事を行った。

#### 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町元町 地内	(注) 小俣児童館空調機取替工事	空調機(天井カセット型同時ツイン、シングル)取替3台	1,998,000 円	27. 6. 19	27. 7. 31

(注) 建築住宅課施行

### 3 病児・病後児保育事業

病気のために学校、幼稚園、保育所での集団保育が困難で、家庭でも保育することが出来ない児童を一時的に預かり、就業と子育ての両立を支援した。

	伊勢市	玉城町	度会町	明和町	計	委託先	事業費
利用児童数	492 人	10 人	4 人	17 人	523 人	神田小児科「病児保育エンゼル」	円 16,406,280
延べ利用人数	1,011	24	6	26	1,067		

### 4 子育て支援ショートステイ事業

保護者の疾病、出産等の理由により、一時的に家庭における児童の養育が困難となった場合に、施設において当該児童の養育を行うため、また経済的理由等により緊急一時的な保護を必要とする母子を保護するため、市内の施設と事業委託契約を交わし事業の実施を図った。

施設名	実利用人数	延べ利用日数	事業費
子育て家庭支援センター終	3 人	3 日	円 14,160
天理教三重互助園	3	7	33,040

### 5 ファミリー・サポート・センターの運営

児童福祉の向上及び仕事と家庭の両立を支援するため、依頼会員の要望に応じて提供会員を紹介し、相互の信頼と了解の上で一時的に児童を預かる会員組織である「いせファミリー・サポー

ト・センター」の運営の充実を図った。

会 員 数				活動件数	委 託 先	事 業 費
依頼 会員	提供 会員	両方 会員	計			
277 人	156 人	15 人	448 人	1,908 件	NPO 法人三重みなみ 子どもネットワーク	8,691,005 円

#### 6 児童手当（特例給付）の支給

15歳到達後の最初の3月31日までの間にある児童を監護する者に児童手当を支給し、児童の健全育成を図った。なお、児童を養育している方の所得が所得制限限度額以上の場合は、特例給付として月額一律5,000円を支給した。

平成27年度支給実績

対象児童延べ人数	支給額合計
175,752人	1,916,350,000円

3月末時点の受給者数等

受給対象者数	対象児童数
8,863人	14,875人

#### 7 子ども・子育て会議

子ども・子育て支援法（平成24年8月22日公布）の制定に伴い、平成27年3月に策定した伊勢市子ども・子育て支援事業計画の推進を図った。

伊勢市子ども・子育て会議の開催（1回）

開 催 日：平成28年2月18日

委員組織：学識経験者、医療関係者、福祉関係者、教育関係者、商工関係者、労働関係者、市民・保護者関係者、行政関係者

#### 8 就学前の子どもの教育・保育に関する施設整備計画の推進

平成26年12月に策定した「伊勢市の就学前の子どもの教育・保育に関する施設整備計画」に基づき、平成28年度からしごうこども園短時間部において3年保育を実施するための調整を行った。また、その他の公立の保育所などの整備に取り組むための準備を行った。

## ○こども家庭相談センター関係

### 1 家庭児童相談状況

家庭における適切な児童養育、その他家庭児童福祉の向上を図るため、各種相談に応じ、助言指導等を行った。

相談種類別受付件数

相談内容		件数
養護相談	児童虐待相談	83
	その他の相談	38
保健相談		4

障がい相談	肢体不自由相談	件 0
	視聴覚障がい相談	0
	言語発達障がい等相談	0
	重症心身障がい相談	0
	知的障がい相談	0
	発達障がい相談	4
非行相談	ぐ犯行為等相談	4
	触法行為等相談	0
育成相談	性格行動相談	7
	不登校相談	13
	適性相談	2
	育児・しつけ相談	4
その他の相談		18
計		177

## 2 児童虐待防止活動

伊勢市子ども家庭支援ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）の活動を通して児童虐待の未然防止、早期発見及び被虐待児童への迅速かつ適切な保護等を円滑に行うための体制の充実に努めた。

代表者委員 23 人 実務者委員 19 人

- |                     |      |
|---------------------|------|
| (1) 代表者会議           | 2 回  |
| (2) 実務者会議（毎月 1 回）   | 12 回 |
| (3) 個別ケース検討会議（随時開催） | 59 回 |
| (4) 児童虐待防止研修会       |      |

児童虐待を取り巻く現状及び動向等の理解を深めるために研修会を開催した。

日 時 平成 27 年 11 月 10 日（火）午後 2 時 00 分～午後 4 時 15 分

場 所 三重県伊勢庁舎 401 会議室

参加者 59 人（小・中学校教員、民生委員・児童委員、主任児童委員、  
子ども家庭支援ネットワーク関係職員）

内 容 「整形外科医の眼から診た児童虐待」

（講師 医療法人河口外科 院長 河口 大介 氏）

- (5) 児童虐待防止広報・啓発活動

「広報いせ」4 月 15 日号に子ども家庭支援ネットワークの紹介記事を、11 月 1 日号に児童虐待防止啓発に関する特集記事を掲載した。

11 月の児童虐待防止推進月間において、児童虐待防止に関する啓発活動を実施した。

- ・11 月 5 日に宇治山田駅、11 月 10 日に大型商業施設において街頭啓発をそれぞれ行った。（啓発物品配布 940 個）。
- ・三重県による子ども虐待防止啓発活動の一環として実施されたオレンジリボンツリーの

設置及びツリーの市町リレーに協力した。

- ・市役所本庁舎壁面へ懸垂幕の設置、公用車への児童虐待防止マグネットシートの貼付、オレンジリボン運動への協力を行った。

(6) CAP（子どもへの暴力防止）プログラムの実施（CAP…Child Assault Prevention）

市内の各保育所・幼稚園・小学校等に募集を行い、CAPプログラムを実施した。

実施施設 まるこ幼稚園、早修小学校

3 女性相談状況

女性に対する人権侵害等の悩み、DV（配偶者等による暴力）に関する相談に応じ、その問題の解決に必要な指導を行った。

相談種別	実人員	延べ件数
夫等の暴力（DV）	60人	367件
離婚問題	40	77
夫等の問題（酒乱、薬物中毒等）	2	3
子どもの問題（子どもの暴力、養育困難等）	5	15
親族の問題（親、その他の親族の暴力等）	7	24
交際相手の問題（交際相手、同性の交際相手の暴力等）	2	17
その他の人間関係	7	11
経済関係（生活困窮、借金、求職等）	0	0
医療関係	2	6
その他	0	0
計	125	520

一時保護 3件

4 発達支援相談状況

発達支援相談員とみえ発達障がい支援システムアドバイザーが発達障がい児の早期発見・早期支援に向け、市内の保育所、幼稚園を巡回して、保護者や保育士・教員等からの相談を受け、助言を行うとともに、必要に応じて、療育や専門機関につなげ連携を図った。24年度からの継続対応実人数は165人であり、途切れのない支援の継続を行った。

また、「CLMと個別の指導計画」を7園（公立保育所6園、公立幼稚園1園）において実施し、保育所・幼稚園での早期発見、早期支援を行った。

（CLM…気になる子の早期発見のための発達チェックリストとして、三重県（県立小児心療センターあすなろ学園）が開発した「チェック（C）リスト（L）in 三重（M）」の略）

相談種別	延べ件数
発達障がい	233件
知的障がい	108
身体障がい	56
その他	354
計	751

## 5 心身障害児通園施設おおぞら児童園

### (1) 発達療育

- ・食事や排泄、衣服の着脱の自立など、基本的な生活習慣の指導を行い、手遊び、ふれあい遊び、音楽療法士による音楽活動を通じて、運動・感覚・認知機能・言語能力の発達を促した。

対象 1歳～就学前  
実施時間 月・木曜日 午前9時～正午  
利用児童数 延べ646人（うち音楽療法士対応 192人）

### (2) 感覚運動遊び

- ・4、5人のグループで感覚運動遊びを行い、各感覚系や言葉の発達及びコミュニケーション力の発達を促した。

対象 3歳児～就学前  
実施時間 月～金曜日 午前9時15分～午前11時15分  
午後1時15分～午後3時15分  
利用児童数 延べ1,188人

### (3) 放課後等デイサービス

- ・小グループでの療育の中で感覚運動や言葉・文字・かず・社会性の発達を促した。

対象 小学校特別支援学級または、特別支援学校在籍の児童  
実施時間 月～金曜日 午後3時20分～午後4時20分  
午後4時40分～午後5時40分  
利用児童数 延べ601人

### (4) 作業療法

- ・作業療法士による感覚統合療法を中心とした運動・感覚・認知機能を高める訓練を行った。

対象 1歳～小学6年生  
実施時間 毎日 午前9時～午後4時40分  
利用児童数 延べ144人

### (5) 言語療法

- ・言語聴覚士が、言語に障がいや遅れのある児童に言語訓練を行った。

対象 3歳児～就学前  
実施時間 月・火曜日 午前9時～午後4時  
利用児童数 延べ461人

### (6) 心理療法

- ・臨床心理士によるプレイセラピー、子どもの発達や療育に関する個別相談を行なった。

プレイセラピー 月4回 延べ70人  
臨床心理士相談 延べ18人

### (7) 機能回復訓練

- ・理学療法士等による個々の状態にあわせた機能回復訓練を行った。

対象 1歳～就学前

実施回数 年3回

利用児童数 延べ18人

(8) 相談等

- ・療育見学及び就園・就学、子どもの発達についての相談を行なった。

延べ 140人

- ・保護者向け勉強会を開催した。(年間3回)

(1) パーソナルカルテの説明及び先輩お母さんの子育て経験の話

こども家庭相談センター職員 卒園児保護者

参加者 33人 (保護者 24人 職員 9人)

(2) パーソナルカルテの説明及び作業療法士による講演

こども家庭相談センター職員 作業療法士

参加者 40人 (保護者 30人 職員 9人 その他 1人)

(3) 特別支援学校教諭による講演

城山特別支援学校教諭

参加者 30人 (保護者 20人 職員 9人 その他 1人)

6 障害児相談支援事業所おおぞら児童園

障がい児が地域において自立した日常生活又は社会生活を送り、適切な福祉サービスが提供されるよう、家族の相談や障害児支援利用計画の作成を行った。

新規作成 241人 モニタリング 215人

## ○母子・父子・寡婦福祉関係

1 児童扶養手当の支給

父又は母と生計を同じくしていない児童が育成されている家庭（一人親家庭）の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図るため、児童扶養手当の認定等の事務と支給業務を行った。

平成27年度支給実績

3月末資格者数	支給額合計
1,392人	535,344,360円

2 高等職業訓練促進給付金等事業

一人親家庭の親の就労のための主体的な能力開発の取組を支援するために、看護師(准看護師)、介護福祉士、保育士等の資格に係る養成機関で、2年以上の教程を修業する一人親家庭の親に対し、その修業期間における生活費等の負担減を図るため、補助金を支給した。

区分	支給件数	支給額合計
高等職業訓練促進給付金	11件	11,361,000円
高等職業訓練修了支援給付金	7	325,000

※7人中7人看護師

### 3 母子・父子・寡婦福祉資金貸付状況

一人親家庭及び寡婦に対して、三重県が実施する母子・父子・寡婦福祉資金貸付の相談や申請受付事務等を行い、生活意欲の助長と経済的自立を図った。

区 分	母 子		父 子		寡 婦	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
修 学 資 金	7 件	11,964,000 円	1 件	1,836,000 円	1 件	1,836,000 円
就 学 支 度 資 金	6	3,100,000	0	0	0	0
計	13	15,064,000	1	1,836,000	1	1,836,000

### 4 一人親・寡婦相談状況

一人親家庭及び寡婦の身上相談に応じ、その自立に必要な指導を行った。

区 分	相 談 内 容				計
	生活一般	児 童	生活援護	そ の 他	
相 談 件 数	104 件 (内 2)	9 件 (内 1)	145 件 (内 3)	13 件 (内 0)	271 件 (内 6)

※ ( ) は内数で父子相談件数

### 5 母子生活支援施設及び助産施設の状況

18歳未満の児童を持つ母子世帯であって、その児童の福祉に欠ける母子を入所措置し、社会の共同生活に適応できるよう生活指導及び自立への支援を行った。また、保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を入所措置し、保健の向上を図った。

	入 所 措 置		措 置 費
	施設数	世帯数	
母子生活支援施設	2 施設	2 世帯	4,079,047 円
助産施設	措置人数		493,396
	2 人		



# 高 齢 ・ 障 が い 福 祉 課

## ○ 障がい福祉関係

### 1 障害者地域生活支援事業

#### (1) 障害者相談支援センター運営事業

障がい種別や年齢に関わらない一次相談やアウトリーチによる相談を行う東地域及び西地域の2か所の地域相談支援センターを、また、地域相談支援センターとしての機能に加え、伊勢市地域自立支援協議会の運営、権利擁護や相談支援専門員の人材育成など地域の中核的な役割を担う基幹相談支援センター機能を有する伊勢市障害者総合相談支援センター「フクシア」をそれぞれの社会福祉法人に運営を委託し、相談支援の充実を図った。

#### ア 伊勢市障害者総合相談支援センター「フクシア」

- ・ 委託先 社会福祉法人 三重済美学院
- ・ 委託金額 25,606,000 円（平成 27 年度）
- ・ 委託期間 平成 25 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

#### イ 伊勢市障害者西地域相談支援センター

- ・ 委託先 社会福祉法人 四季の里
- ・ 委託金額 10,150,000 円（平成 27 年度）
- ・ 委託期間 平成 27 年 2 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

#### ウ 伊勢市障害者東地域相談支援センター

- ・ 委託先 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会
- ・ 委託金額 10,150,000 円（平成 27 年度）
- ・ 委託期間 平成 27 年 2 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

#### エ 相談等延べ件数（平成 27 年度）

	来 所	電話、 メール等	家庭等訪問、 同行等	会議等	連絡調整等	その他	計
伊勢市障害者総合相談支援センター「フクシア」	件 284	件 1,180	件 761	件 298	件 932	件 9	件 3,464
伊勢市障害者西地域相談支援センター	122	484	308	70	203	3	1,190
伊勢市障害者東地域相談支援センター	76	728	351	143	215	15	1,528
計	482	2,392	1,420	511	1,350	27	6,182

(2) 伊勢市障害者虐待防止委員会の状況等

伊勢市障害者虐待防止委員会設置要綱に基づき、伊勢市障害者虐待防止委員会を設置し、関係機関との連携協力体制を構築するとともに、虐待を受けた障がい者及び養護者等に対する効果的な支援、虐待の早期発見、防止対策等の検討を行った。

- ア 委員数 15人
- イ 委員構成 学識経験者・医療関係者・障害者福祉関係者・警察関係者・人権擁護団体の代表者・市民団体の代表者
- ウ 開催回数 1回
- エ 障がい者虐待についての相談・通報対応件数等

	養護者による虐待	障害者福祉施設従事者等による虐待	使用者による虐待
虐待に関する相談・通報対応件数	9件	1件	1件
事実確認により虐待と判断した事例	2件	0件	0件

オ 虐待の種類（重複） ※上記、虐待と判断した事例についての虐待の種類

区分	身体的	放棄・放任	心理的	性的	経済的
件数	1件	0件	1件	0件	0件

カ 被虐待者の障がい種別（重複） ※上記、虐待と判断した事例についての障がい種別

区分	身体障がい	知的障がい	精神障がい
件数	1件	1件	1件

(3) 日常生活用具給付事業

在宅の重度の心身障がいのある人等に対して日常生活の安定を図るため、特殊マット、入浴補助用具等を給付した。

ア 重度障害児(者)等日常生活用具

種目	対象者	件数	金額
特殊寝台	下肢若しくは体幹機能障害2級以上又は寝たきりの状態にある難病患者等	2件	292,570円
特殊マット	知的障害 A2 以上又は下肢若しくは体幹機能障害1級以上又は寝たきりの状態にある難病患者等	2	37,240
入浴担架	下肢又は体幹機能障害2級以上（常時介護を要する者）	1	82,400
入浴補助用具	下肢若しくは体幹機能障害であって入浴に介助を必要とする者又は入浴に介助を要する難病患者等	11	437,074
移動用リフト	下肢若しくは体幹機能障害2級以上又は下肢機能若しくは体幹機能に障害のある難病患者等	2	318,000

体位変換器	下肢若しくは体幹機能障害２級以上（常時介護を要する者）又は寝たきりの状態にある難病患者等	件 2	円 27,610
頭部保護帽	平衡、下肢、体幹、知的、精神障害（てんかんの発作等により頻繁に転倒するもの）	8	122,220
T字状・棒状のつえ	平衡、下肢、体幹機能障害	2	6,000
火災警報器	身体障害２級以上、知的障害A2以上（火災発生感知及び避難が著しく困難な障害者のみの世帯及びこれに準ずる世帯）	1	15,500
自動消火器	身体障害２級以上、知的障害A2以上又は難病患者等（火災発生感知及び避難が著しく困難な障害者のみの世帯及びこれに準ずる世帯）	1	28,700
聴覚障害者屋内信号装置	聴覚障害２級（聴覚障害者のみの世帯及びこれに準ずる世帯で日常生活上必要と認められる世帯）	1	85,000
移動、移乗支援用具	平衡、下肢、体幹機能障害で、家庭内の移動等において介助を必要とする者又は下肢が不自由な難病患者等	4	183,672
透析液加湿器	腎機能障害３級以上で自己連続携行式腹膜灌流法（CAPD）による透析療法を行う者	3	144,200
電気式たん吸引器	呼吸器機能障害３級以上又は同程度の障害があつて、必要と認められる者又は呼吸器機能に障害のある難病患者等	5	264,960
盲人用体温計（音声式）	視覚障害２級以上	1	9,000
動脈血中酸素飽和度測定器（パルスオキシメーター）	呼吸器機能障害３級以上又は同程度の障害であつて、必要と認められる者	11	437,125
携帯用会話補助装置	音声言語機能障害児（者）又は肢体不自由者であつて、発声・発語に著しい障害を有する者	2	123,100
情報・通信支援用具	視覚、上肢機能障害２級以上	5	484,488
視覚障害者用ポータブルレコーダー	視覚障害２級以上	3	246,500
視覚障害者用拡大読書器	視覚障害児（者）であつて、本装置により文字等を読むことが可能になる者	3	574,200
盲人用時計	視覚障害者２級以上 なお、音声時計は、手指の感覚に障害がある等のため触読式時計の使用が困難な者を原則とする	2	12,200
点字図書	主に、情報の入手を点字によつて視覚障害児（者）	1	3,200

ス ト マ 用 装 具	ストマ造設者	件 1,768	円 15,963,239
紙 オ ム ツ	高度の排便、排尿機能障害のある全身性障害児（者）等	618	6,672,158
収 尿 器	高度の排尿機能障害児（者）	12	115,946
居 宅 生 活 動 作 補 助 用 具	下肢・体幹機能障害又は乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害（移動機能障害者に限る）のある者であって障害程度等級 3 級以上の者又は下肢機能若しくは体幹機能に障害のある難病患者等（ただし、特殊便器への取替をする場合は上肢 2 級以上の者）	9	1,625,530
計	—	2,480	28,311,832

#### （４）地域活動支援センター事業

通所による創作的活動・生産活動の機会を提供し、障がいのある人と社会との交流の促進を図った。

- ア 実利用人数 94 人
- イ 給付費 1,571,750 円

#### （５）日中一時支援事業

障害福祉サービス事業所等において、障がいのある人や、障がいのある児童に対し、日中における活動の場を提供し、障がいのある人等を日常的に介護している家族の就労支援及び一時的な休息を図った。

- ア 実利用人数 150 人
- イ 給付費 15,828,629 円
- ウ 委託先 社会福祉法人 三重済美学院ほか 30 事業所

#### ○障害児放課後支援事業運営業務

重度身体障害者デイサービスセンター内（くじらキッズ）、小俣保健センター内（フレンズ）において、小中学校または特別支援学校に在学している市内在住の障がい児を放課後等に預かり、運動や創作活動等の取組による支援を実施するため、下記のとおり業務運営を委託した。

- ア 委託先 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会
- イ 委託金額 17,987,000 円（平成 27 年度）
- ウ 委託期間 平成 25 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
- エ 利用者数 くじらキッズ 1,152 人（1 日平均 4.7 人）  
フレンズ 1,769 人（1 日平均 7.3 人）

#### （６）移動支援事業

屋外での移動が困難な人に、外出のための移動に対する付き添いなどの支援を行った。

- ア 実利用人数 73 人
- イ 給付費 7,196,772 円

(7) 身体障害者情報保障事業

ア 手話通訳設置事業

庁内に手話通訳者を配置し、聴覚障がいのある人とその他の人の意思疎通を仲介することにより、コミュニケーション支援の充実を図った。

- ・窓口対応件数 176 件
- ・設置人数 常勤 1 名（午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分）  
非常勤 1 名（午前 8 時 30 分～午後 3 時）
- ・事業費 5,225,754 円

イ 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

聴覚障がい等のある人とその他の人の意思疎通を仲介するために手話通訳者・要約筆記者を派遣することにより、聴覚障がい等のある人の社会参加の向上を図った。

- ・主な派遣内容 会議、講演会、医療、教養講座、障がい者団体活動、イベント、生活
- ・手話通訳者派遣件数 85 件 登録通訳者数 11 名
- ・要約筆記者派遣件数 34 件 登録通訳者数 13 名
- ・事業費 776,751 円

ウ 手話奉仕員養成事業

聴覚障がいや手話に関する基礎的な知識について学び、聴覚障がいのある人の社会参加を支援する手話奉仕員の育成を目的として手話奉仕員養成講座入門編を、手話通訳資格を取得し伊勢市手話通訳者派遣事業登録通訳者として活動するため、三重県主催手話通訳者養成講座の受講を目指す者の更なるレベルアップを目的として手話奉仕員ステップアップ講座を開催した。（奉仕員：コミュニケーションがとれるもの）

- ・手話奉仕員養成講座入門編（7 月～3 月、全 23 講座）  
会場・受講人数 伊勢市福祉健康センター 26 名  
講師：伊勢市聴覚障害者福祉協会会員 2 名  
三重県聴覚障害者協会職員 1 名  
高齢・障がい福祉課職員 1 名
- ・手話奉仕員ステップアップ講座（4 月～3 月、全 12 回）  
会場・受講人数 伊勢市福祉健康センター 11 名  
講師：伊勢市聴覚障害者福祉協会会員 2 名
- ・事業費 180,851 円

エ 点字広報・声の広報発行事業

市政情報を分かりやすく提供するため、広報いせを点訳及び音訳し、視覚障がいのある人の情報保障の充実を図った。

- ・点字広報発行事業

事業費 150,000 円 発行人数 12 人

・ 声の広報発行事業

事業費 200,000 円 発行人数 41 人

(8) 視覚障害者訪問訓練事業

在宅の視覚障がいのある人の自立と社会参加の促進を図ることを目的に、対象者に対して巡回訪問し、歩行訓練等の日常生活に必要な訓練を実施した。

ア 対象者 視覚障害程度 1 種（1 級から 3 級と 4 級の一部）

イ 委託先 特定非営利活動法人 アイパートナー

ウ 事業費 1,876,000 円

エ 利用人数等 14 人 134 回

(9) 重度障害者訪問入浴サービス事業

重度の身体障がいにより、自宅浴槽での入浴が困難な在宅の人に対し、入浴車で訪問し、入浴や洗髪の介助を行った。

ア 委託先 ①社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会

②株式会社 菜のはな

③アースサポート株式会社

イ 事業費 10,426,220 円

ウ 利用人数等 13 人 846 回

(10) 身体障害者用自動車操作訓練事業

身体障がいのある人が、自動車教習所において操作訓練を受け、運転免許取得に要した費用の一部の助成を行った。

ア 対象者 身体障害者手帳 1～4 級の交付を受けている人

イ 事業費 100,000 円

ウ 利用人数 1 人

(11) 身体障害者用自動車改造費助成事業

身体障がいのある人が、自動車の運転を容易にするためのハンドルやブレーキ装置等の改造に要した費用の一部を助成した。

ア 対象者 改造する自動車を自分で所有し運転する重度の上肢・下肢または  
体幹機能障がいのある人

イ 事業費 286,000 円

ウ 利用人数 3 人

(12) フリースペース運営事業費補助事業

障がいのある人に日中活動、生活交流、休息の場を提供する「フリースペース」を実施・運営する者に対して補助金を交付することにより、障がいのある人の社会参加及び社会復帰の促

進を図った。

- ア 補助件数 2件
- イ 補助金額 485,670円

(13) 障がい者体育祭開催事業

障がいのある人の社会参加等を図るため、障がい者体育祭実行委員会に事務局として参加し、開催を支援した。

- ア 日時 平成27年6月27日(土) 午前10時～午後3時30分
- イ 場所 三重県営サンアリーナ(サブアリーナ)
- ウ 参加人数 281人(障がい者・家族203人、ボランティア等78人)
- エ 負担金 450,000円

(14) ふれあい交流事業

障がいのある人とその他の人の交流を深めるため、陶芸教室を開催し、相互の理解を図った。

- ア 日時 平成27年8月7日(金) 午前10時～午前11時30分
- イ 場所 二見老人福祉センター 1階 集会室
- ウ 参加人数 123人
- エ 事業費 300,000円

(15) 成年後見人制度利用支援事業

成年後見制度の利用が有効と認められるにも関わらず、申し立てを行う者が四親等以内の親族にいない場合、市長の権限による申し立てを行うとともに、必要経費を助成することにより、成年後見制度の利用促進を図った。

- ア 対象者 療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人
- イ 件数 5件
- ウ 事業費 242,934円

(16) 指定計画相談支援事業等促進補助金

すべての障害福祉サービス等利用者への計画相談支援事業等の実施を推進するため、市内における計画相談支援事業所等の立ち上げを支援した。

- ア 補助件数 8件
- イ 補助金額 12,040,000円

(17) 障害者週間啓発事業

12月3日～9日にわたる「障害者週間」の意義を広く市民に啓発し、ノーマライゼーションの理念を普及するため、街頭啓発、啓発行事、作品展示を実施した。

- ア 街頭啓発
  - ・日時 平成27年12月3日(木) 午前7時30分～8時30分頃
  - ・場所 宇治山田駅前、伊勢市駅前
  - ・配布内容 ポケットティッシュ

## イ 作品展示

- ・日 時 平成 27 年 12 月 3 日（木）～9 日（水）
- ・場 所 伊勢市福祉健康センターロビー、市役所本庁舎 1 階ロビー
- ・展示内容 ふれあい交流事業陶芸作品、福祉協力校の活動発表等

## ウ 啓発行事

- ・日 時 平成 27 年 12 月 5 日（土）午後 12 時～4 時 30 分
- ・場 所 ハートプラザみその 多目的ホール
- ・内 容 障がい者雇用促進シンポジウム in 伊勢  
～みんなで考えよう、それぞれの立場でできること～

## 2 障害者外出支援事業

### (1) 重度障害者タクシー料金助成事業

重度の障がいのある人の自立更生、社会参加等を促すため、障がいのある人が利用したタクシー料金の一部を助成し、経済的負担の軽減及び社会的活動への参加の促進を図った。

- ア 対象者 身体障害者手帳（下肢・体幹・視覚・移動機能障がい 1 級～2 級、内部障がい 1 級）又は療育手帳 A、精神障害者保健福祉手帳 1 級～3 級の交付を受けている人
- イ 交付枚数等 1 人につき 600 円券を、年間 36 枚を限度として交付する。  
利用者は、乗車 1 回につき 3 枚まで使用可能とする。
- ウ 助成券交付人数 845 人
- エ 助成額 8,617,200 円
- オ 実施事業所数 18 事業所

### (2) 重度身体障害者リフト付タクシー料金助成事業

車椅子等でしか移動できない重度の障がいのある人が利用したリフト付タクシー料金の一部を助成し、経済的負担の軽減及び社会的活動への参加の促進を図った。

- ア 対象者 身体障害者手帳（下肢・体幹・移動機能障がい 1～3 級）の交付を受けている人のうち、外出時に車椅子又は移動寝台を必要とする人
- イ 交付枚数等 1 人につき 1,000 円券を、年間 72 枚を限度として交付する。  
利用者は、乗車 1 回につき 6 枚まで使用可能とする。
- ウ 助成券交付人数 75 人
- エ 助成額 1,694,000 円
- オ 実施事業所数 27 事業所

## 3 障害者生活環境等整備事業

### (1) 心身障害者訪問理美容サービス事業

寝たきり状態等のため、理・美容院に出向くことが困難な身体障がいのある人に対し、居宅でサービスが受けられるよう理美容業者の出張料相当分（1 回につき 1,000 円）を助成した。

- ア 対象者 下肢、体幹障がい 1～2 級、内部障がい 1 級



イ 支給人数 7人  
 ウ 助成額 18,000円

(2) 重度心身障害者紙おむつ等支給事業

寝たきり若しくは排泄の告知が困難な心身障がいのある人に対し、紙おむつ等の購入に要する経費の一部について、紙おむつ等利用券を支給した。

ア 対象者 3歳以上 65歳未満  
 下肢、体幹、移動機能障がい1～2級、療育手帳程度A

イ 支給人数 10人  
 ウ 助成額 通常分 304,500円

地域住民生活等緊急支援のための交付金分 229,000円

4 障害者福祉運営対策経費

(1) 身体障害者福祉センター運営事業

指定管理者制度により、社会適応訓練（パソコン教室等）等を行う身体障害者デイサービス事業を実施するとともに、身体障害者福祉センターを利用する障がいのある人の利便性の向上や、社会参加を促進するため、身体障害者福祉センターの運営を委託した。

- ・委託先 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会
- ・委託料 9,406,286円
- ・年間利用人数 1,192人（身体障害者デイサービス事業）

(2) 重度身体障害者デイサービスセンター運営事業

ア 運営委託

指定管理者制度により、創作的活動又は生産活動の機会の提供、その他の身体機能又は生活能力の向上のための支援を行う生活介護事業を実施するため、重度身体障害者デイサービスセンター「くじら」の運営を委託した。

- ・委託先 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会
- ・委託料 24,789,000円
- ・平均利用人数 16.5人

イ 施設等修繕

施設運営上に必要となる修繕等を下記のとおり実施した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
黒瀬町内	(注) 伊勢市重度身体障害者デイサービスセンター空調設備等改修工事	空調設備改修工事 給湯設備改修工事 受電・電源設備工事 内装・外構改修工事	円 100,440,000	27. 8. 7	28. 2. 2

(注) 建築住宅課施行

(3) 障がい者就労支援施設運営事業

ア 運営委託

雇用されることの困難な障がいのある人に、就労・生産活動の機会の提供、その他の知識及び能力の向上のために必要な支援を行う就労継続支援事業を実施するため、障がい者就労支援施設「ひまわり」、「工房そみん」、「小俣さくら園」、「御菌しらぎく園」の運営を、指定管理者制度により委託した。

- ・委託先 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会
- ・委託料 17,921,000 円
- ・平均利用人数 ひまわり 13.0 人 工房そみん 13.3 人 小俣さくら園 15.5 人  
御菌しらぎく園 8.3 人

イ 施設等修繕

施設運営上に必要となる修繕等を下記のとおり実施した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町茶屋地内	工房そみん男子・女子トイレ改修工事	男子便所大便器改修 1か所 女子便所大便器改修 1か所	円 864,000	27. 7.10	27. 9. 7
御菌町長屋地内	御菌しらぎく園トイレ改修工事	大便器取替 1か所 手洗用水栓取替 2か所	799,200	27. 8.24	27. 9.24
計	2件	—	1,663,200	—	—

(4) 自立更生事業補助金

市内の障害者団体に対し、その活動経費を助成し、会員の自立更生を図った。

- ア 助成団体 8 団体
- イ 補助金額 1,719,000 円

(5) 伊勢市地域自立支援協議会の状況等

障がいのある人やその家族が、障がいの状態や年齢に関わらず地域の中で安心して生活を送ることが出来るような地域づくりを行うため、関係者が共同して地域生活に関わる課題を協議した。

- ア 委員数 10 人
- イ 委員構成 学識経験者 1 名、保健医療及び福祉の関係者 5 名、教育関係者 1 名、障がい者 1 名、障がい者の家族 1 名、市長が必要と認める者 1 名
- ウ 開催回数 6 回

## 5 障害者手当等給付事業

### (1) 特別障害者手当等給付事業

在宅の重度障がいのある人に対し、その重度障がいによって生じる負担軽減を図るため、特別障害者手当等を支給した。

手 当 名	(注) 手 当 月 額	年 度 末 実 人 数	支 給 延べ人数	支 給 金 額
特別障害者手当	円 26,000 26,620	人 155	人 1,782	円 47,252,080
障害児福祉手当	14,140 14,480	62	718	10,358,560
福祉手当	14,140 14,480	5	73	1,052,280
計	—	222	2,573	58,662,920

(注) 手当月額の上段は平成27年2月・3月分、下段は平成27年4月～平成28年3月分

#### ア 支給対象者

特別障害者手当 … 精神又は身体に重度の重複障がいをもつため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある、在宅の20歳以上の人

障害児福祉手当 … 精神又は身体に重度の障がいをもつため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある、在宅の20歳未満の人

福祉手当 … 20歳以上で旧制度による福祉手当を受給していた人のうち、特別障害者手当の支給要件に該当せず、かつ障害年金も支給されない人

### (2) 福祉給付金の支給

常時介護を必要とする重度の心身障がいのある人に対し、福祉の増進を図るため、福祉給付金を支給した。

区 分	対 象 人 数	支 給 単 価	支 給 金 額
前期支給(9月)	人 271	円 12,000	円 3,252,000
後期支給(3月)	290	12,000	3,480,000
計	561	—	6,732,000

#### ア 支給対象者

住民税非課税世帯に属する在宅の人のうち下記のいずれかの条件に該当する人

ただし、介護用品支給事業の利用者及び重度心身障害者紙おむつ等支給事業の利用者を除く。

- ・1級の身体障害者手帳の交付を受けている人
- ・「A」の療育手帳の交付を受けている人
- ・1級の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人

6 障害者生活介護施設等整備補助金

特別支援学校卒業後の進路として不足している生活介護施設の新規創設の整備を促進し、障がい者の日中活動の場を確保して障がい者福祉の充実を図るため、整備事業費の一部を補助した。

ア 施設名	かすみ草
イ 所在地	伊勢市村松町 4785 番地 3
ウ 定員	30 人
エ 設置運営主体	特定非営利活動法人暖家
オ 全体事業費	95,040,000 円
カ 補助金額	11,880,000 円
キ 施工期間	平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 3 月 20 日

7 社会的事業所創業支援事業補助金

三重県社会的事業所設置運営要綱に基づく社会的事業所の設置又は運営を支援し、障がい者の地域社会に根ざした就労の促進及び社会的かつ経済的な自立の促進を図るため、補助金を交付した。

ア 社会的事業所名	伊勢社会的事業所 まかせ太君
イ 所在地	伊勢市鹿海町 656 番地 1
ウ 設置運営主体	社会福祉法人 伊勢亀鈴会
エ 事業開始日	平成 28 年 3 月 21 日
オ 障がい者従業員数	5 人
カ 補助金額	2,000,000 円

8 障害者介護給付等事業

障害福祉サービス等の利用について、給付費の支給を希望・申請した人に対し支給決定し、給付費の支給を行った。

ア 障害者介護給付・訓練等給付等事業

事業名	実利用人数	給付費額	サービス内容
居宅介護（ホームヘルプサービス）	154 人	114,119,376 円	自宅で、入浴、排泄、食事等の介護といった生活全般にわたる援助を行う
同行援護	31	7,128,135	視覚障がいのために移動が困難な人に、外出に必要な支援を行う
行動援護	1	90,390	知的障がいや精神障がいにより行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するときに必要な支援等を行う
短期入所（ショートステイ）	91	32,792,390	自宅で介護を行う人が疾病などの場合に、短期間の施設入所により適切な支援を行う
生活介護	287	761,079,387	常に介護が必要な人に、日中、施設で入浴や排泄、食事の介護や創作的活動等の機会を提供する

療養介護	人 11	円 33,284,360	医療と常時の介護が必要な人に、医療機関で機能訓練や療養上の管理、看護、介護等を行う
施設入所支援	136	193,495,437	施設に入所している人に、入浴や排泄、食事の介護を行う
自立訓練（生活訓練）	19	9,449,545	自立した日常生活や社会生活ができるよう、生活能力向上に必要な訓練を一定期間行う
宿泊型自立訓練	17	8,607,661	自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定期間居住の場を提供して生活能力向上に必要な訓練を行う
就労移行支援	59	40,059,254	就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識・能力の向上のために必要な訓練を行う
就労継続支援（A型）	102	114,688,610	就労を希望する人に、雇用契約に基づいて働く場を提供するとともに、就労に必要な知識・能力の向上に必要な訓練を行う
就労継続支援（B型）	315	335,410,220	就労を希望するが一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、就労に必要な知識・能力の向上に必要な訓練を行う
共同生活援助（グループホーム）	93	104,414,254	地域で共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行う
計画相談支援	678	22,551,259	福祉サービスの適切な利用のための「サービス等利用計画」を作成し、モニタリングを行う
地域移行支援	1	218,970	障害者支援施設や精神科病院に入院している人に、地域生活への移行に関する相談等の支援を行う
地域定着支援	2	53,220	単身等で生活する人に、常時の連絡体制を確保し、障がいによって起こる緊急事態発生時等に相談等の支援を行う
計	1,997	1,777,442,468	—

#### イ 障害児通所支援事業

事業名	実利用人数	給付費額	サービス内容
障害児相談支援	人 208	円 8,228,020	福祉サービスの適切な利用のための「障害児支援利用計画」を作成し、モニタリングを行う
児童発達支援事業	152	25,332,775	未就学児を対象に、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などを行う
放課後等デイサービス事業	154	55,369,776	18歳までの就学児を対象に学校終了後または休業日に、生活能力の向上に必要な訓練、社会との交流の促進などを行う
計	514	88,930,571	—

### 9 障害支援区分認定事業

#### (1) 障害支援区分認定審査会の状況

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び伊勢市障害者介護給付費等の支給に関する審査会条例に基づき、伊勢市介護給付費等の支給に関する審査会を設置し、障害支援区分認定等に係る審査業務を行った。

- ア 委員数 10人（2合議体。1合議体5人で構成）
- イ 委員構成 内科医師2人、精神科医師2人、医療ソーシャルワーカー2人  
障害者施設職員4人
- ウ 開催回数 23回
- エ 判定件数

非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
件 0	件 1	件 35	件 68	件 49	件 40	件 105	件 298

(2) 障害支援区分認定調査の状況

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、障害福祉サービス利用申請者の訪問調査を実施した。

- ア 調査件数 347件（含、訓練等給付のみを利用する人 49件）
- イ 調査員数 専門調査員2人（市嘱託職員。専門調査員の他、職員も実施）

10 補装具費支給事業

日常生活や社会生活の向上を図るため、補装具費の支給(購入及び修理)を次のとおり実施した。

種 目	区 分	件 数	金 額
義 肢	修 理	件 5	円 997,095
	購 入	46	2,765,632
装 具	修 理	15	131,454
	購 入	12	2,330,130
座 位 保 持 装 置	修 理	11	573,932
	購 入	6	29,294
盲 人 安 全 つ え	購 入	6	29,294
義 眼	購 入	4	358,416
眼 鏡	購 入	5	107,137
補 聴 器	購 入	63	4,142,157
	修 理	31	433,061
車 い す	購 入	21	5,635,070
	修 理	39	1,190,968
電 動 車 い す	購 入	1	412,723
	修 理	2	66,652

座 位 保 持 椅 子	購 入	件 5	円 349,308
歩 行 器	購 入	5	947,137
	修 理	5	171,010
頭 部 保 持 具	購 入	1	7,440
歩 行 補 助 つ え	購 入	3	83,260
起 立 保 持 具	購 入	1	280,000
	修 理	1	37,728
重度障害者用意思伝達装置	修 理	1	8,262
計	—	283	21,057,866

## 11 身体障害者医療給付事業

### (1) 自立支援医療（更生医療）

身体に障がいのある人の障がいの除去又は軽減を図るため、更生医療費（人工関節置換術・人工透析等、その他適用を受けることができる治療、投薬等の治療にかかる医療費）を次のとおり給付した。

ア 診療延べ件数	459 件
イ 実人数	43 人
ウ 給付費	13,962,491 円

### (2) 自立支援医療（育成医療）

身体に障がいがあるか、現存する疾患の治療を行わないと将来において重度の障がいを遺すと認められ、また、確実な治療効果が期待できる 18 歳未満の児童に対し、その障がいを除去または軽減し、生活能力の向上や社会活動を容易にするため、育成医療費（目・耳・手足・内臓疾患等の手術、人工透析、心臓移植、肝臓移植、腎臓移植、疾病に伴う歯科矯正など）を次のとおり給付した。

ア 診療延べ件数	220 件
イ 実人数	68 人
ウ 給付費	4,318,554 円

## 12 自立支援医療（精神通院）の受付

在宅で精神に障がいのある人の通院医療を促進し、地域での生活を支援するため、通院医療費公費負担に関する申請及び届出の受付、進達業務を行った。

ア 受給者証交付件数	1,330 件（平成 28 年 3 月末）
------------	-----------------------

### 13 身体障害者手帳の交付

身体に障がいのある人の自立更生の援助と生活の安定を図るため、次のとおり身体障害者手帳の申請及び交付事務を行った。

#### (1) 新規交付数等異動状況

障がい		区 分	4 月 1 日 手帳 交付 数	新 交	規 付	転 入	転 出 死 変	出 亡 更	3 月 末 手帳 交付 数
肢 体 障 が い	児		件 58		件 7		件 1	件 △4	件 62
	者		2,696		87		5	△165	2,623
視 覚 障 が い	児		5		0		0	0	5
	者		321		17		0	△22	316
聴 覚 障 が い	児		8		1		0	△1	8
	者		628		41		6	△43	632
言 語 障 が い	児		0		0		0	0	0
	者		62		4		3	△10	59
内 部 障 が い	児		16		4		0	△5	15
	者		1,488		156		18	△134	1,528
計	児		87		12		1	△10	90
	者		5,195		305		32	△374	5,158

#### (2) 等級別交付状況

障がい		区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	計
肢 体 障 が い	児		件 26	件 22	件 8	件 1	件 4	件 1	件 62
	者		484	485	518	774	205	157	2,623
視 覚 障 が い	児		3	0	0	0	2	0	5
	者		106	93	24	22	43	28	316
聴 覚 障 が い	児		0	1	3	1	0	3	8
	者		40	125	103	118	3	243	632
言 語 障 が い	児		0	0	0	0	—	—	0
	者		0	4	34	21	—	—	59
内 部 障 が い	児		7	0	6	2	—	—	15
	者		1,044	7	173	304	—	—	1,528
合 計	児		36	23	17	4	6	4	90
	者		1,674	714	852	1,239	251	428	5,158



#### 14 療育手帳の交付

知的障がいのある人に対して一貫した指導・相談及び援護措置を行うため、療育手帳の申請及び交付を行った。

障がい		4月1日 手帳交付数	新交 規付	転 入	転 死 変	出 亡 更	3月 末 手帳 交付 数
A (重 度)	児	55	2	1		△3	55
	者	359	2	1		6	368
B (中 軽 度)	児	104	30	0		△16	118
	者	323	2	0		3	328
計	児	159	32	1		△19	173
	者	682	4	1		9	696

#### 15 精神障害者保健福祉手帳の交付

精神に障がいのある人に対して社会復帰・社会参加の促進を図るため、保健福祉手帳の申請及び交付事務を行った。

区 分 等 級	平成27年3月 末 手帳 交付 数	平成28年3月 末 手帳 交付 数	増	減
1級	65	65		0
2級	452	474		22
3級	175	190		15
計	692	729		37

### ○ 老人福祉関係

#### 1 老人ホーム入所措置事業

65歳以上の高齢者で、居宅において養護を受けることが困難な者を、養護老人ホームへ入所措置した。

##### (1) 老人ホーム入所措置状況等

施 設 名	年 度 当 初 入 所 者 数	年 度 中 の 入 退 所 者 数		年 度 末 入 所 者 数	措 置 費
		入 所 者	退 所 者		
梨ノ木園(盲)	2	0	0	2	円 6,013,716
清和の里	1	0	0	1	1,943,487
崇雲寮	1	0	1	0	1,878,461
花園寮	1	0	0	1	1,847,989
高砂寮	32	1	3	30	63,734,537
万亀会館	91	5	14	82	146,259,731
計	128	6	18	116	221,677,921

(2) 老人ホーム入所判定状況

老人ホームへ入所の申出のあった高齢者に対して、2回入所判定委員会を開催し、入所措置の要否の判定を受けた。

年度当初待機者数	申請者数	判定回数	要措置判定件数	保留件数	却下件数	取下件数	待機者数
8人	11人	2回	11件	0件	1件	2件	11人

2 老人クラブ補助金事業

各地区単位地域老人クラブ及び老人クラブ連合会の活発な活動を助長するため、高齢者福祉を増進する諸事業に対して助成した。

- (1) 単位老人クラブ 105 クラブ
  - 会員総数 9,199 人
  - 1クラブ平均会員数 87.6 人
  - 助成金 6,899,250 円
- (2) 単位老人クラブ（重点配分事業） 10 クラブ
  - 助成金 970,000 円
- (3) 伊勢市老人クラブ連合会
  - 助成金 3,000,000 円

3 老人乗合バス運賃助成事業

(1) 寿バス乗車券交付

市内に在住する75歳以上の高齢者を対象に、三重交通の市内路線バス全線（スカイライン線除く）及び市が運行するコミュニティバス全線で利用できる寿バス乗車券（100円券40枚（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及び第1種の手帳をお持ちの方の介護者で希望の方は、「50円券×80枚」も選択可能）または1回乗りきり乗車券12枚）を交付することでバス乗車運賃の助成を行い、高齢者の外出を容易にして社会参加の促進及び心身の健康の保持増進を図った。

ア 事業費 21,757,914 円（うち扶助費 19,540,990 円）

イ 交付者数

100円券	50円券	乗りきり券	合計	交付率
8,854人	323人	1,013人	10,190人	51.8%

ウ 利用枚数

100円券	50円券	乗りきり券	合計	交付率
178,222枚	8,104枚	3,938枚	190,264枚	48.5%

#### 4 敬老祝品贈呈事業

市内に1年以上在住し、当該年度において満88歳、100歳に達する高齢者、および最高齢者に対し、敬老と長寿を祝福し、感謝の意を表するため敬老祝品を贈呈した。

	祝品相当額	人数	計	備考
88歳	円 5,000	人 689	円 1,465,916	1,970円/セット（入札後単価、税抜額）
100歳	10,000	32	345,600	10,000円/セット（税抜額）
最高齢	15,000	—	—	生涯に一度
計	—	721	1,811,516	—

#### 5 成年後見人制度利用支援事業

成年後見制度の利用が有効と認められるにも関わらず、申し立てを行う者が四親等以内の親族にいない場合、市長の権限による申し立てを行うとともに、必要経費を助成することにより、成年後見制度の利用促進を図った。また、制度の周知及び啓発を図るため、講演会を開催した。

- (1) 対象者 65歳以上の人
- (2) 後見人報酬実績 1件 170,000円
- (3) 講演会
  - 開催日 平成28年2月2日（火）
  - 演題 「成年後見制度について」
  - 場所 ハートプラザみその
  - 参加者 127人

### ○ 在宅支援事業関係

#### 1 生活管理指導事業

65歳以上の高齢者で、介護保険で「非該当」又は自立とみなされる虚弱な高齢者等で、基本的な生活習慣の欠如や対人関係が成立しにくいなど社会生活を営むうえで支障のある者に対し、生活管理指導員（ホームヘルパー）の派遣や短期間の宿泊により日常生活に対する指導及び支援を行い、基本的な生活習慣が身につくように日常生活や対人関係の構築、家事等に関する指導及び支援を行い要介護状態への進行の予防を図った。

##### (1) 生活管理指導員派遣事業

実施事業所数	利用延べ人員	利用延べ回数	金額
平成27年度 実績なし			

##### (2) 生活管理指導短期宿泊事業

実施事業所数	利用延べ人員	利用日数	金額
平成27年度 実績なし			

## 2 外出支援サービス事業

65歳以上で寝たきり及び歩行が全介助状態である下肢の不自由な高齢者を対象に、外出するときの移送用車輛（リフト付タクシー等）の利用を支援し、高齢者の福祉の増進を図った。

実施事業所数	交付人数	利用枚数	金額
27事業所	1,571人	20,352枚	20,352,000円

## 3 寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業

65歳以上の一人暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯で、寝たきり状態のため寝具類等の衛生管理が困難な者に対し、寝具の洗濯、乾燥、消毒のサービスを行い、高齢者の心身のリフレッシュおよび衛生状況の向上を図った。

事業所名	利用実人員	利用延べ回数	金額（市負担）
三重県クリーニング 生活衛生同業組合伊勢支部	平成27年度 実績なし		

## 4 訪問理美容サービス事業

65歳以上の一人暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯で、寝たきり状態のため一般の理容店や美容院に出向くことが困難な者に対し、訪問理美容サービスのうち移動にかかる費用等の助成を行い、高齢者の心身のリフレッシュ及び衛生状況の向上を図った。

実施事業所数	利用実人数	利用延べ回数	金額
9事業所	20人	90回	90,000円

## 5 緊急通報体制等整備事業

### (1) 福祉電話貸与

電話を保有しない一人暮らしの低所得（市民税非課税世帯）かつ病弱で外出困難な方で、65歳以上または重度身体障害者の方に対し固定電話を貸与することで、社会とのつながりの促進に繋げた。

支援内容	実施台数	金額
福祉電話基本料扶助	8台	228,810円
福祉電話移転・廃止負担金	3	6,480

### (2) 緊急通報装置貸与

一人暮らしで近隣に扶養義務者がいない虚弱な65歳以上の高齢者か重度身体障害者に対して、緊急通報装置を設置し、急病等の緊急時に迅速かつ的確に対処できる体制を整備することで、一人暮らし高齢者等の日常生活の安全確保に努めた。

#### ア 貸与状況

貸与状況				委託料
年度当初	新規	撤去・休止	年度末	
178台	5台	31台	152台	3,698,676円

イ 通報状況

通報件数	内訳	
	正報	誤報
112 件	35 件	77 件

6 高齢者世話付住宅等生活援助員派遣事業

高齢者の生活面・健康面での不安に対応するために、高齢者世話付住宅市営リバーサイドせせらぎに居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否確認、一時的な家事援助、緊急時の対応などのサービスを提供することによって、高齢者が安全かつ快適な生活を営むことができるよう、自立した在宅生活を支援した。

援助内容	延べ件数
生活指導・相談	21 件
安否確認	2,562
一時的な家事援助	276
緊急時対応	50
関係機関との連携	151
その他必要な援助	0
計	3,060

7 救急医療情報キット配備事業

一人暮らし高齢者等の要援護者の救急対策として、「救急医療情報キット」を無料で配布し安心・安全な生活の確保に努めた。

(1) 事業費 352,898 円

(2) 配備状況 配備者数 3,061 人

配備者内訳			
65歳以上独居	高齢者のみ	障害手帳所持	その他
2,737 人	192 人	56 人	76 人

## 8 いきいき健康ひろば管理事業

いきいき健康ひろばの芝生管理や植樹剪定を行い、利用者に安全・安心な環境を提供した。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二俣町 地内ほか	いきいき健康ひろば健康器具等保守点検業務委託	健康器具保守点検業務 一式	円 70,200	27. 4. 1	28. 3. 31
〃	いきいき健康ひろばトイレ清掃等業務委託	トイレ清掃業務 一式 ごみ収集等業務 一式	50,781 【単価契約】 925	27. 4. 1	28. 3. 31
〃	(注) いきいき健康ひろば芝生管理及び植樹剪定業務委託	芝生養生 一式 防除業務 一式 植樹剪定業務 一式	1,620,000	27. 7. 8	28. 3. 10
二俣町 地内	(注) いきいき健康ひろば舗装部分補修工事	舗装工 24 m <sup>2</sup>	378,000	27.10. 6	27.11. 4
計	4件	—	2,118,981	—	—

(注) 維持課施行

## ○ 災害時要援護者対策事業

### 1 災害時要援護者対策事業

災害時に、自分自身や家族の支援だけでは避難することが困難な方が迅速・安全に避難支援等が受けられる体制を整えるため、対象者に対し、災害時要援護者への登録を図った。

#### (1) 対象者

- ア 65歳以上のひとり暮らしの高齢者
- イ 75歳以上の高齢者のみで構成されている世帯の方
- ウ 要介護3以上の認定を受けている方
- エ 身体障害者手帳（肢体・内部障がい1～2級、視覚・聴覚障がい1～3級）を持っている方
- オ 療育手帳（A1、A2）を持っている方
- カ 精神障害者保健福祉手帳（1級）を持っている方
- キ 特定医療（指定難病）受給者証の交付を受けている方のうち、人工呼吸器等装着者
- ク 上記に準じる状態で、自ら要援護者であることを申し出た方

(2) 登録者 2,923人（平成28年3月31日現在）

(3) 事業費 586,470円